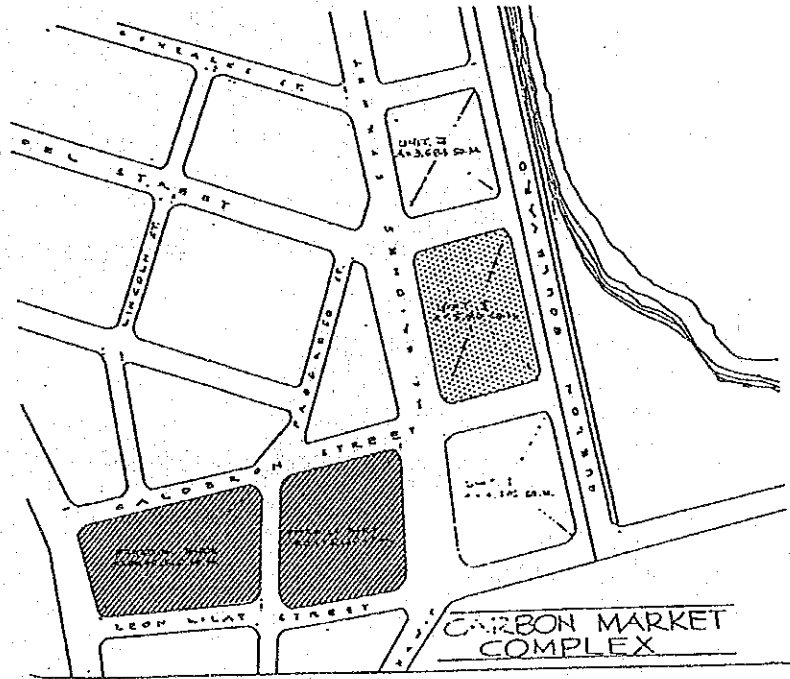
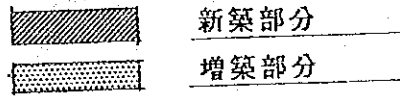
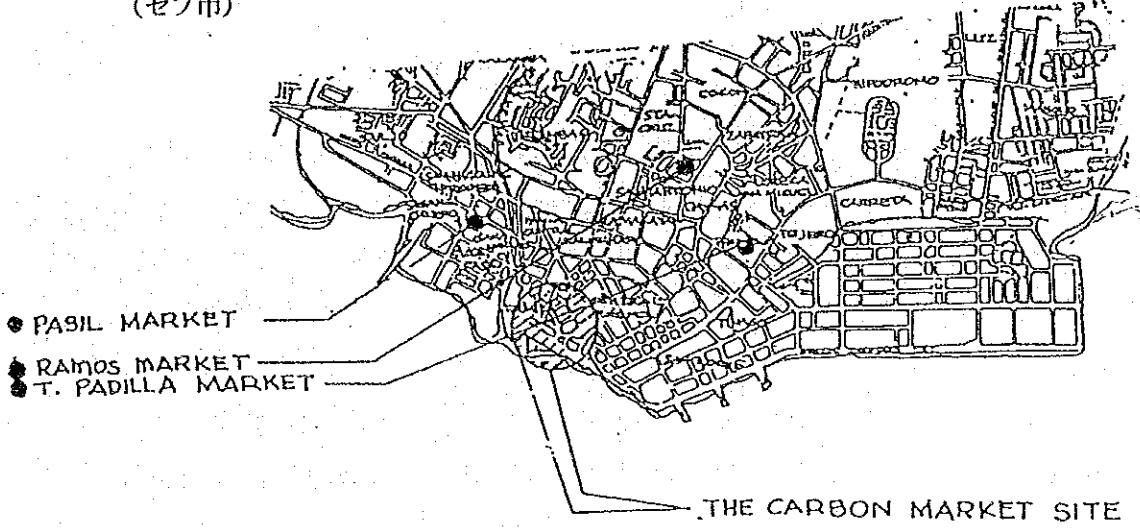


図3-5-1 カルボン・マーケット・コンプレックス

(セブ市)



2. ラブラブ市場

同市の公共市場は1か所のみであり、人口が30,000人程度の時代に建設されたものである。人口が当時の5倍となった現在、混雑が著しく、既存のものに加え、新規市場の建設が急務となっている。又、既存市場は台風被害により建物の状況が悪化しており、一部営業に支障をきたしている。

(1) 現 状

1) 既存市場

既存の市場は市の商業地域の中心地にあり24時間営業している。敷地面積は約1ha。店舗数は658となっているが、周辺道路にも露店が渾然としており、非常に混雑している。建物は2階建てで、2つの建物の2階部分を通路でつないだ形となっている。台風により、ほとんどの窓や軒が被害をうけているが、修復はまだ為されていない。2階部分は明らかに客数が少なく、店舗も少ない。2階部分にある魚市場は階下への水漏りおよび床自体が危険な状態になっているとのことで、改修のため一時店舗を撤去していた。70年代に建設されたものにしては老朽化した印象を受ける。新市場ができて旧市場は残す方針とのことである。

2) 新サイト

新サイト候補地は市街部と国際空港との中間部に当たり、現在OECDのローンにより建設が進められている高規格道路に面している。この道路は「メトロ・セブ開発計画」の一環として建設されており、セブとラブラブを結ぶ橋の延長にバイパスを作るもので、本年中に完成の予定であるが、現在土盛り、整地作業が行われていた。

サイト用地としては当初2.5haの用地を予定し、その収用のために750万ペソの予算を計上しており、日本の協力の目途が立てば、早速土地所有者(14名)との交渉を始めたいとのことであった。サイト内には14軒程度の居住者がいる。

ところが、調査終了間際となって、サイト変更の提案があった。新サイトは旧サイトに近く同じ道路に面しており、3haの面積がある。こちらも土地は未収用であるが、土地所有者は9名でサイト内居住者は1軒のみである。地形も平坦で、条件的にはこちらの方が良いようである。

(2) 要請内容

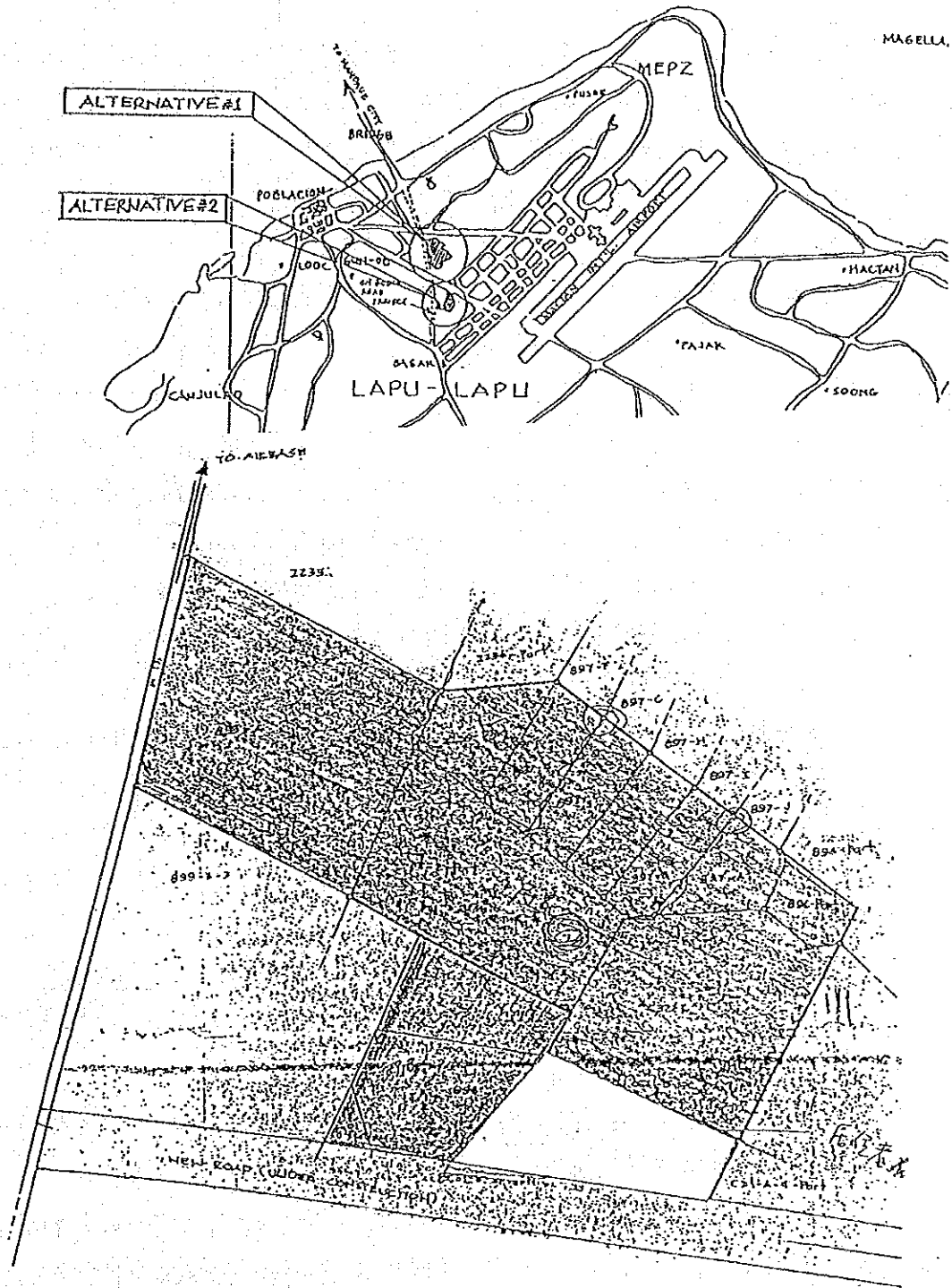
- 1) 新市場建設……………規模500店舗(4,763㎡)
- 2) 管理施設……………管理事務所、便所、ゴミ集積所、ポンプ小屋
- 3) 周辺整備……………駐車場、構内舗装、荷下ろし場、露店スペース等(2,619㎡)
- 4) 付随施設……………冷蔵庫(100㎡)、屠殺場(250㎡)

(3) 問題点および所見

既存マーケットの状態から見て市場新設の必要性は非常に高いが、土地収用ができるかどうかが一番のポイントである。市側はすぐにでも手続きを取りたいと説明していたが、通常

土地収用にはかなりの時間を要するとのことであり、計画通りに行くかは疑問がある。したがって、協力の検討は土地収用の目途が確実にってからであろう。

図 3 - 5 - 2 ラプラプ市場



ALTERNATIVE SITE NO. 2
 AREA 30,793.50 M²

3. カルカル市場

同市場は当初1947年に建設され、その後何度も増築されてきているが、当初の建物の老朽化が進んでいることに加え、台風被害により建物の状況が悪化してきている。市場内の排水不良やゴミ処理の問題もあり、衛生面での改善も急務となっている。

(1) 現地状況

市場は 1.2haの敷地に6つの建物が並んでいる。各々建築された年代が異なっているので、仕様や構造は統一されていない。今回建替を要請されたのは中央部を占める木造3棟の改築（先方は規模的に大き過ぎるのであれば、2棟でも可としていた）および管理棟の建設である。これらは特に独立基礎部分の風化による傷みが目立っている。今後台風再来時には建物全体が影響を受けることも考えられる。

敷地全体が低地であり台風の被害は風雨によるものよりも浸水によるものが大きかったとのことである。調査時もあり口周辺の駐車スペースのかなりの部分が水溜りとなっていた。場内排水は開放の側溝方式で排水溝が作られているが、排水状態は良くない。先方は用地の嵩上げを要望しているが、改築しない建物が残るので、サイト全体の嵩上げは困難である。建物の土台部分は高くし、それとともに排水改善に留意する必要がある。現在は排水は市場の外縁を流れる排水路から周辺の水田に流れ込んでおり、稲作に支障を来している。

また、市場奥の一隅に仮設の屠殺小屋があり、その周囲が特に衛生状況が悪い。本市場改修に当たってはこの屠殺小屋の移転が大きな課題となる。市ではこれを移転する計画を立てて、建設を始めたところ、地方自治省から移転地としては不適との指摘を受けたため、新屠殺場建設は宙に浮いた形となっている由。（なお、調査団帰国後、移転適地が手当てできた旨の連絡があった。）

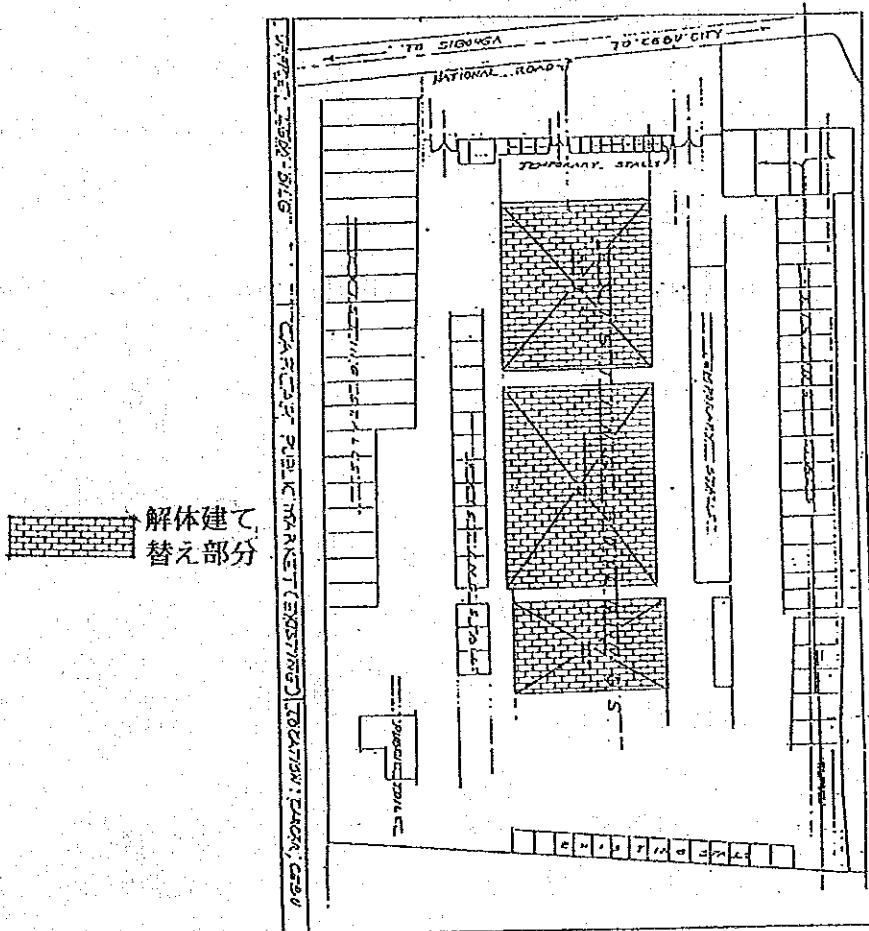
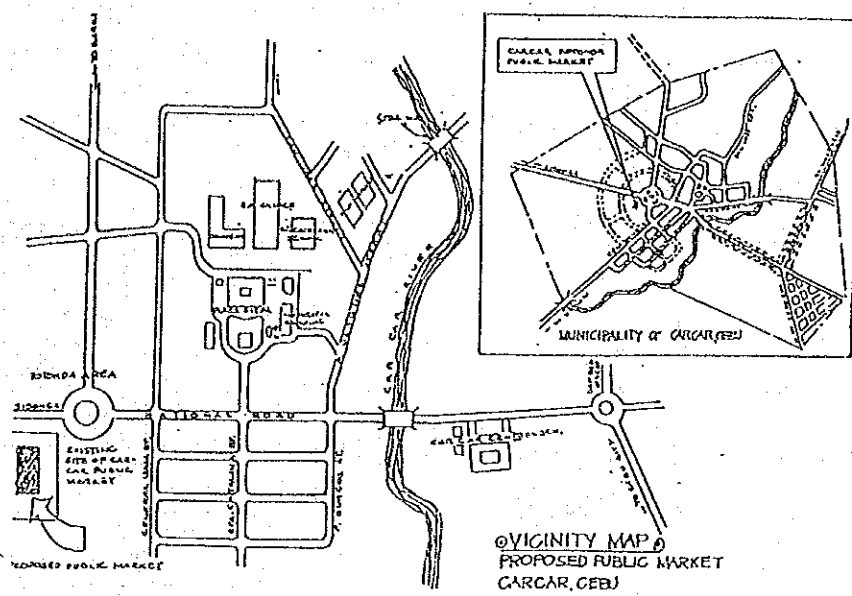
(2) 要請内容

- 1) 市場建物の改築……………規模148店舗（1,451㎡、既存の取り壊しは先方実施）
- 2) 管理施設……………管理事務所、便所、ゴミ集積所、ポンプ小屋
- 3) 周辺整備……………駐車場、構内舗装、荷下ろし場、露店スペース等（886㎡）
- 4) 付随施設……………屠殺場（144㎡）、冷蔵庫（100㎡）

(3) 問題点および所見

老朽化した建物の立替、および構内の排水改良により現況の大幅な改善が期待できる。但し、場内の屠殺場が衛生状態改善のネックとなっており、早急な移転が必要である。排水は雨水排水と雑排水を分離し、雑排水は簡易処理したうえで場外へ放流すれば、水田への影響は低減できると考えられる。尚、工事期間中の店舗の仮移転用地の確保につき確認が必要である。

図 3 - 5 - 3 カルカル市場



SITE PLAN

4. オロキエタ市場

同市および同市周辺の地域は、典型的な農村地帯であり、急激な人口増加は認められず、人口5万人前後で推移している。

既存公共市場は、ラヤワン川に沿った、市の中心地に1か所あるのみであるが、市場敷地内は広く、まだ混雑して手狭という状態ではない。敷地内には、マーケット・ビルディングAおよびB、管理事務所、屠殺場、農産物配送場、水産物配送場、公衆トイレ、消防署棟の8つの建物がある。

(1) 現 状

1) 既存市場

既存市場の敷地は、1.8haの広さで、マーケット・ビルディングA、B、バラック群、露店部分の4ブロックで構成されている。

マーケット・ビルディングAは、40店舗の食堂(Carindaria)のある建物で、老朽化も見られず衛生状態も良い。

マーケット・ビルディングBは、376の鮮魚、食肉、野菜など生鮮食料品の店舗と日用雑貨、衣料品の店舗が入っている。建物は鉄筋コンクリートの柱は鉄骨製のトラス造りで、老朽化もなく、内部の売場施設の造り変えのプランがある。

バラック群のある地域(マーケット・ビルディングAの隣地で104店舗のバラックがある)は、「オールド・マーケット・エアリア」と呼ばれている。ここは、旧式の市場建物が取り壊された後に、次第にバラックが建てられた所である。このため、バラック群のマーケットは床のコンクリート舗装もされておらず、また、排水施設が無いため、衛生的に問題がある。

露店が集合している地域は、ラヤワン川に沿った、屠殺場の隣にあり、常時100前後の露店がテントを張り営業している。

また、既存の屠殺場は、老朽化が進んでおり、政府の食肉検査員からも衛生面から、移転の勧告を受けている。

(2) 要請内容

- 1) 新市場の建設……………規模738店舗、マーケット・ビルディングBの改築
- 2) 管理施設……………管理事務所、ゴミ集積所
- 3) 周辺施設……………駐車場および公共ターミナル、露店広場、荷下ろしおよび配送場
- 4) 付随施設……………屠殺場移築、冷蔵庫

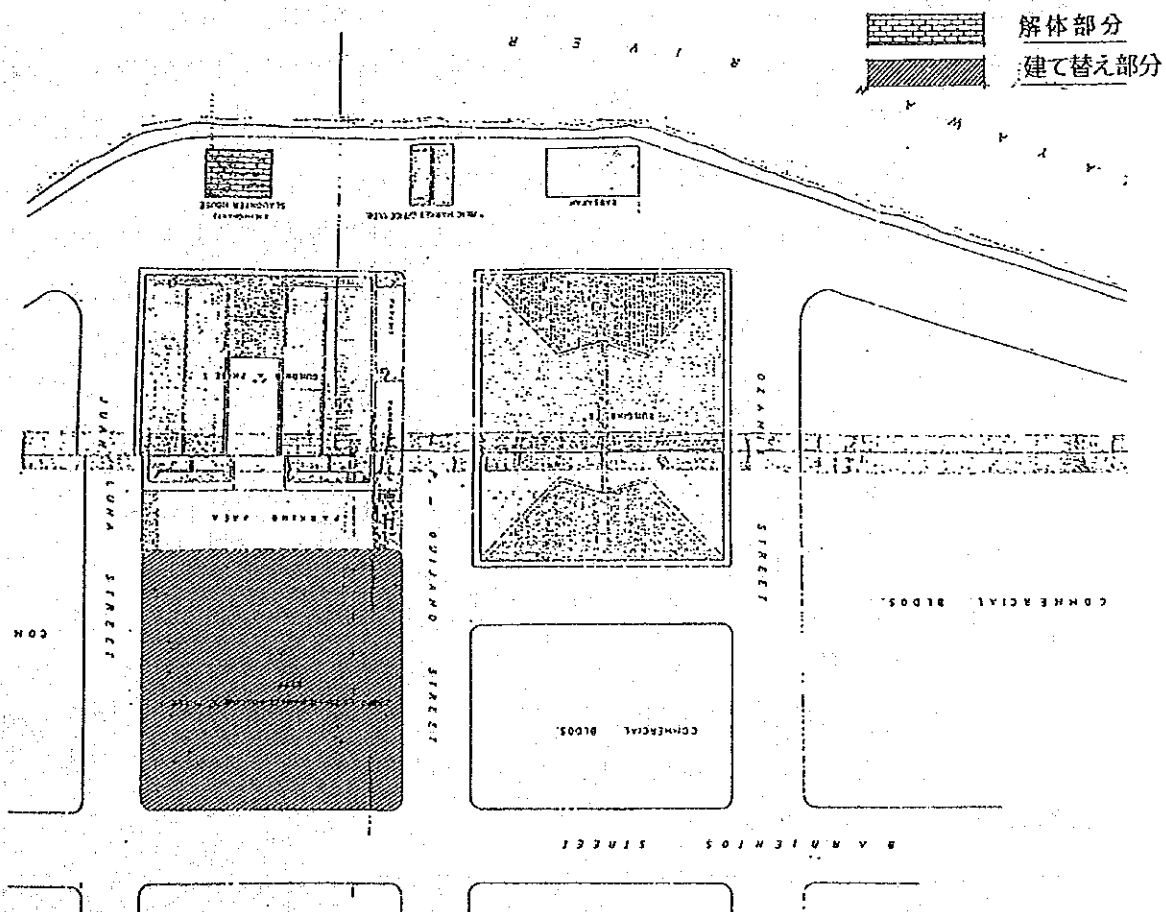
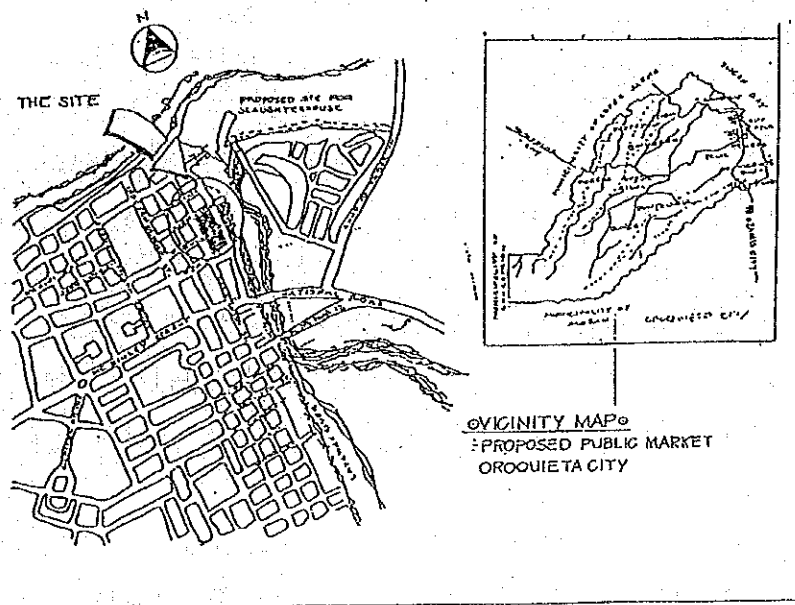
(3) 問題点および所見

マーケット・ビルディングBの建替、マーケット・ビルディングAとバラック群の跡地に、新市場を建設する計画である。しかし、マーケット・ビルディングAは食堂の集合体であり、老朽化も見られず、台風の被害も無い為、市側と話し合ったところ、解体・新設の必要性はなく、バラック群の跡地のみに市場新築するようになる。なお、市側は不法居住者の問題はない

と説明していたが、この点につき再確認の必要がある。

屠殺場の移築については、市は移築サイトの土地を既存市場に沿ったラヤワン川の対岸に確保しているが、登記上私有地であるので、所有地に登記変更するのがポイントである。

図3-5-4 オロキエタ市場



OROQUIETA

5. ダナオ市場

現在の市場は当初1960年代に建設されたもので、その後の人口増加により近年混雑が激しくなっている上、昨年台風ルビンによって大きな被害を受けた。一部は市の負担により修復したが、まだ壊れたままとなっている建物もある。このため、公共市場を移転し、状況の改善を図ろうとしている。なお、移転後の現市場は商業地区として再開発を計画している。

(1) 現 状

1) 既存市場

市の中心の商業地区にあり、1 haの敷地に300店舗および600の臨時店舗があり、日曜日のマーケット日には露店が道路の中心まで溢れている。台風による被害は周辺屋根部に見られ、市場の中にある店舗等が2棟壊れたままとなっている。場内の排水施設は開放式の側溝があるが、床の高さが道路面とほとんど差がないため、衛生的に問題がある。場内ではないが屠殺場が道路を隔てたところにある。市場の中には管理事務所はなく、市役所の出納部が直接集金管理している。昨年の市場からの税収入は95万ペソで、支出は73万ペソであった。

2) 新サイト

既存マーケットから300~400m離れたところには3.6haの土地を用意している。部分的に低くなっているところがあり、最大1.5m程度の土盛りが必要と見られる。土盛りについては市内近郊で建設が開始されるゴルフ場との協定で造成残土を搬入して実施することが決まっており、2~3カ月以内に土盛りは終了するとのことである。サイトには37家族の居住者がいるが、市側では市場建設に当たっては立ち退く旨の合意書を取りつけていると説明しており、また、移転地として2km程離れたところに用地を確保している。

水供給については、既存のポンプ式に変えて、現在重力式の水道施設建設に取りかかっており、1992年に完成の予定で、新サイトも給水がなされるので、当初要請に含まれていた市場用のポンプ施設は不要となった。排水についてはサイトに沿って小河川が流れており、雑排水の放流が可能。

(2) 要請内容

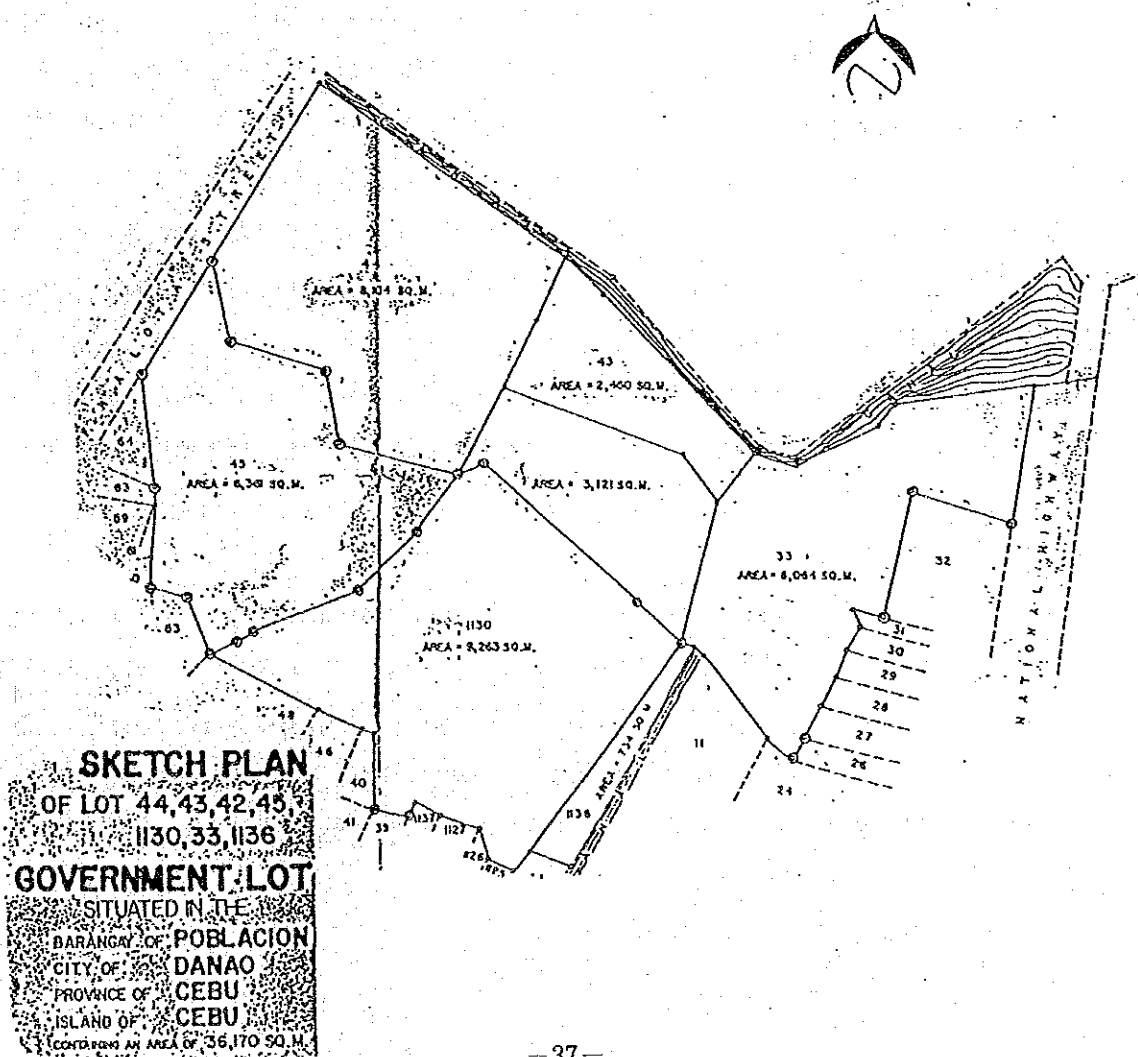
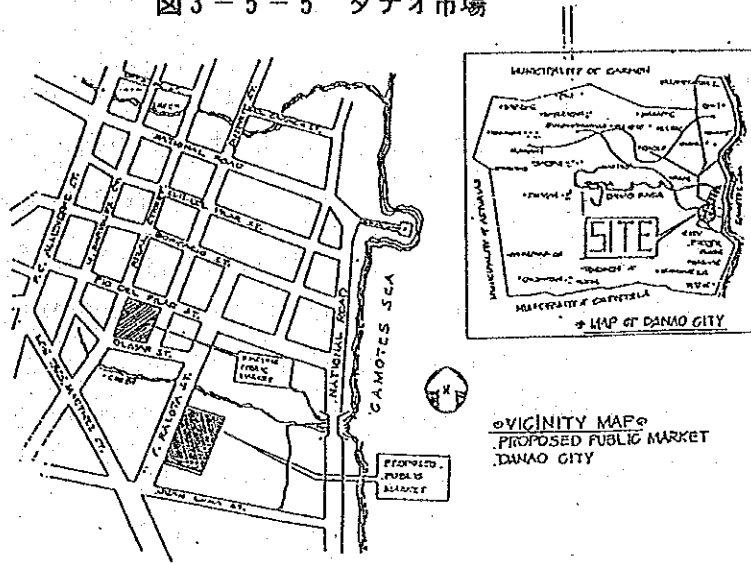
- 1) 市場建物……………規模350店舗 (4, 147 m²)
- 2) 管理施設……………管理事務所、便所、ゴミ集積所
- 3) 周辺施設……………駐車場、構内舗装、荷下ろし場、露店スペース (2, 475 m²)
- 4) 付随施設……………氷蔵庫 (一時的に水を貯蔵しておく所。72 m³)、屠殺場移築(243 m²、但し、当面は既存の物で対応は可能と見られ、日本側の協力が難しければ、市側で対応を考えるとのことであった)

(3) 問題点および所見

新市場建設の必要性は十分に認められる。土盛りや居住者移転の見通しもついているとのことであるので、実施には大きな支障はないと見られる。また、全面道路に面した箇所はほとん

ど土盛りの必要性はない。但し、居住者移転については、具体的な合意内容、スケジュールにつき再確認の必要がある。

図 3 - 5 - 5 ダナオ市場



6. トレド市場

市街部の中心にあるポブラシオン市場と南部の鉱山町にあるDAS（ドン・アンドレス・ソリアノ市場）の2か所の公共市場の改修である。

(1) 現 状

1) ポブラシオン市場

海岸沿いに展開しており、敷地面積13,000㎡に市場建物と屠殺場等が配置されており、平常は270の店舗（販売人）があるが、マーケットデイには600の店舗が営業する。台風により屋根や窓に被害を受けたが、市が100万ペソを出して修復している。市場そのものの状況は清潔で良好であるが、屠殺場は老朽化し、台風被害によって屋根が壊れたままとされている。市場はスペース拡張の必要に迫られていることから、この屠殺場を移転しその跡地を中心に魚売り場等のウエットセクションの建設および今は設置されていない冷蔵庫や管理事務所の新設を計画している。屠殺場周辺には居住者がいるが、移転用地として市では2haの用地を用意している由。

市場前面の岸壁が台風の影響で一部崩れており、早急な修復が必要となっており、市側で修復を検討しているとのことである。

2) DAS市場

当初市場は1969年に建設されたが台風によって屋根が飛ばされるなど大きな被害を被ったことから、現在先方が300万ペソの予算をかけて全面改修を行っており、1991年末には完了する予定である。完成後は衣料雑貨等のドライ・グッズが61区画、魚、肉等のウエット・セクションが110区画を予定している。しかしこれだけでは不十分である為、老朽化した敷地内の屠殺場を移転しその後にドライグッズ部門の増設を図るとともに、露店スペースの整備、冷蔵庫の設置等を計画している。

改修工事中は市場内にあった店舗は前面道路に仮設店舗を作り営業しているが、臨時移転の為の経費は改修後の再入店を条件として各店舗が負担しており、市側は工事期間中の移転保証も特に行っていない。

3) 屠殺場移転サイト

両市場共屠殺場の移転が必要となっていることから、両市場を結ぶ幹線道路沿いに屠殺場を建設し、両市場に肉を供給する計画である。移転サイトはポブラシオンからは約12km、DASからは6km程度のところにある。ここは以前小規模な公共市場だったところだがその後すたれ、現在は廃屋同然となっており、家畜の競りが時々開かれているだけである。傾斜地を切り開いた平坦な敷地で、屠殺場を建設するために必要な広さは十分にある。

(2) 要請内容

1) ポブラシオン市場

ウエット・マーケットの増設（629㎡）

管理施設……………管理事務所、ごみ集積場、
周辺整備……………構内舗装、露店スペース等、岸壁改修
付随施設……………冷蔵庫（117㎡）、屠殺場の移転

2) DAS市場

ドライ・マーケットの増設（58店舗）
管理施設……………管理事務所、便所、ごみ集積所
周辺整備……………駐車場、荷下ろし場、露店スペース、ポンプ小屋
付随施設……………冷蔵庫（90㎡）、屠殺場の移転

3) 屠殺場の建設

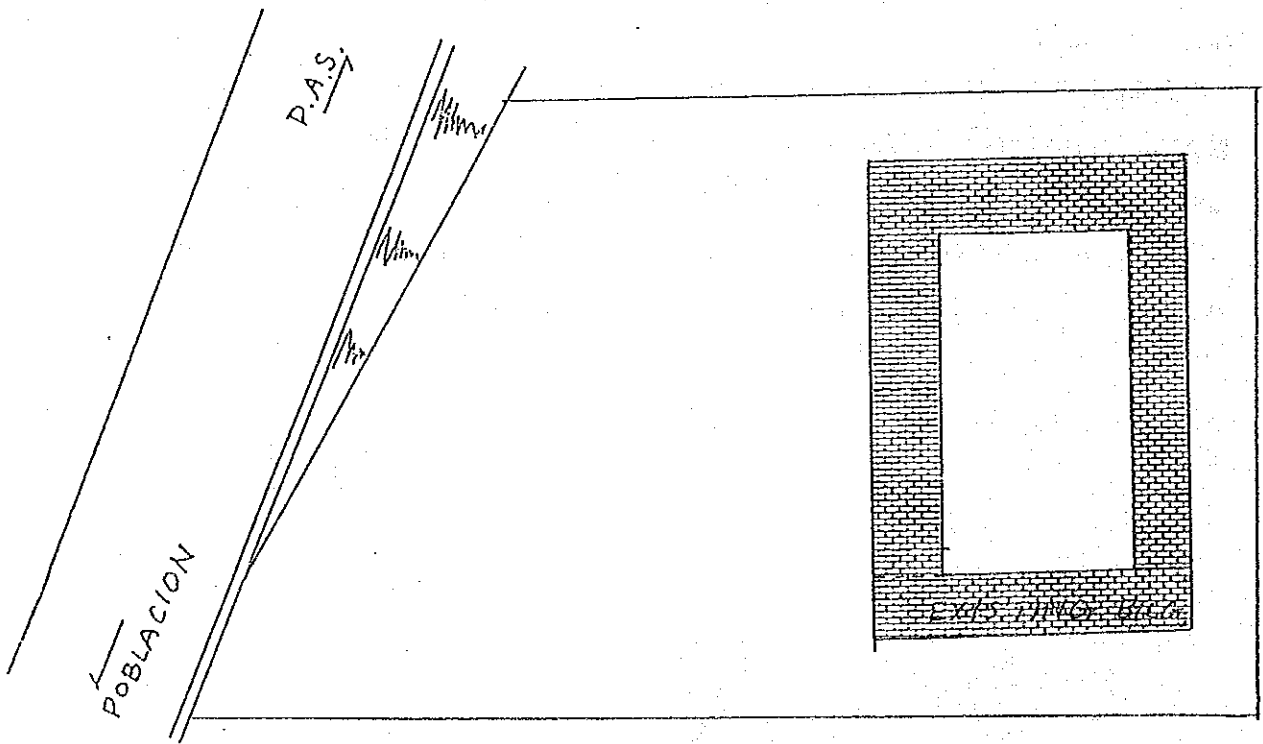
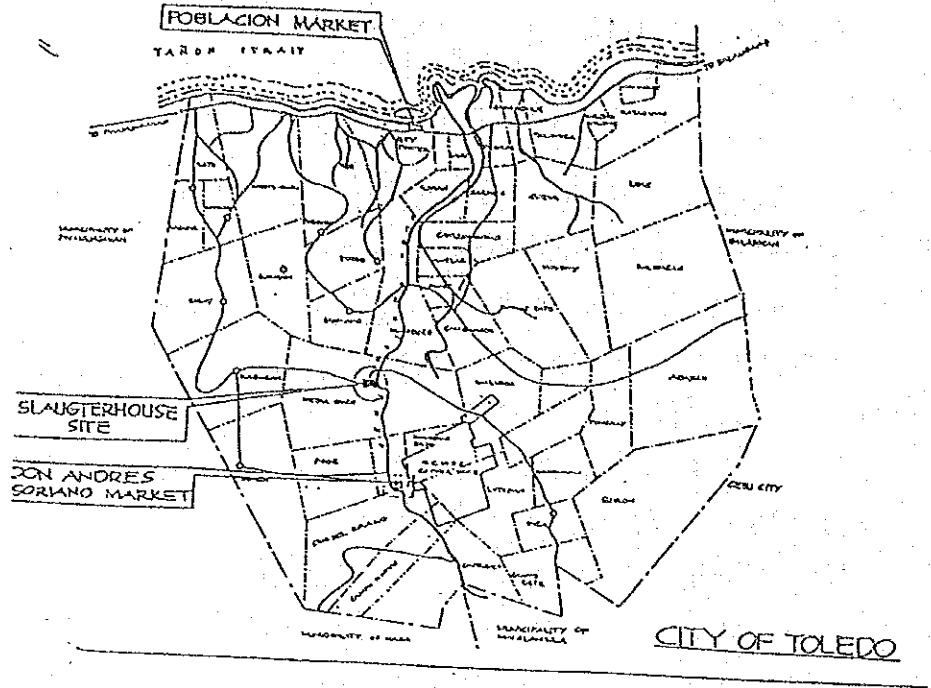
(3) 問題点および所見


両市場共市場本体については先方が改修を行っており、優先度、緊急性は他の市場に比較して低くならざるを得ないが、事業実施については可能性はありとみられる。本市場の改修のキーとなるのは新屠殺場の建設である。両市場共用で各々の市場から離れているので、運営体制・流通システムにつき問題はないか更に検討する必要がある。

先方はDAS市場に関して、周辺の拡張も含めた要望を有しているが、その場合、土地取得の問題やサイト整地の問題も有るので、屠殺場移転跡地付近に限定した協力検討が適当であろう。

建設面からみて、①DAS市場：現在建築中であり、排水計画もしっかりしている。現存の屠殺場を移転することでより改善される。②ポブラシオン市場：駐車場が有り、場内もきれいに使用されており、排水処理する施設はないが、場内外廻りの放流施設もしっかりしている。屠殺場移転も必要である。③屠殺場の新サイト土地は、切土で、排水も道路に沿って側溝があり、適地である。ただし、先方による旧建物の解体が必要である。

図3-5-6 トレド市場



 解体部分

屠殺場予定地

7. タグビララン市場

同市には現在3か所の既存マーケットがある。最も大きなものは市の中心部にあるアゴラ市場で、1913年人口が約10,000人の時に建設されたものである。コゴン市場も市街部にあり、1958年（当時人口約20,000人）に建設されたものである。もう1か所のマンガ市場は市街地から少し離れたところにある小規模な魚中心の市場である。

タグビラランの人口は現在61,000人で、これらの市場が作られた時よりも飛躍的に増大してきているため、市場が手狭になり、市場内のオープンスペースのみならず、周辺道路にも露店が並び、市中心部の交通混雑の要因となっている。この状態の緩和を図るために新規市場の建設を要望している。なお、台風被害に関しては、コゴン市場は100万ペソ、アゴラ市場には70万ペソを市が支出し、修復作業を行っている。

当初の計画では市中心部に隣接する海岸埋立地がサイトとして上がっていたが、今回の市側の説明では、埋立地の収用には相当時間を要することが判明したため、アゴラから2 kmほど離れた約3 haの市有地をサイトとして提示してきた。

(1) 現 状

1) 既存市場

- ① アゴラ市場………当初計画市場212店舗に加え、352の追加店舗、および、臨時店舗50の合計614店舗が1 ha弱の敷地に展開している総合マーケットである。一部に2階建てのコンクリート造部分があり、この2階には市場の管理事務所や一部の市の事務所が入っている。混雑はしているが、状況としてはさほど悪くはない。年間の市場の税収入は215万ペソ。
- ② コゴン市場………店舗数260、面積は950 m²あるが、中央部の広場がバスターミナルになっている。市の唯一の公共ターミナルであるが、7～8台駐車すればいっぱいとなり、周辺道路にも駐車している。台風被害を受けた数店舗が修復中である。市場税収入年間39万ペソ。
- ③ マンガ市場………魚主体の50店舗程度の小規模、年間市収入9,000ペソ。

2) 新サイト

市街地から約2 km離れ、日本の協力により建設した農業開発センター（APC）から500～600 mほどはいった市道沿いにある。周辺は住居はほとんどない丘陵地で、市では中心部の混雑を緩和するため、ここにバスターミナルと公共市場を作り、人口の分散を図りたいとしている。APC周辺に市役所移転の構想もある。

サイトを通る道路は現状は舗装部分4 m程度であるが、フィリピン政府がADBとの話し合いを進めている「地方都市開発計画」のなかでバイパス道路として8 mに拡幅し、またサイト隣接地に、バスターミナルを建設することが提案されている。サイトは約3 haの収用が終わり、隣接地も交渉中の由。収用済の地形は変形部分があるが、2 haについてはま

とまっている。給水、電気とも近くまできており問題はない。なお、バスターミナルの用地はまだ未収用。

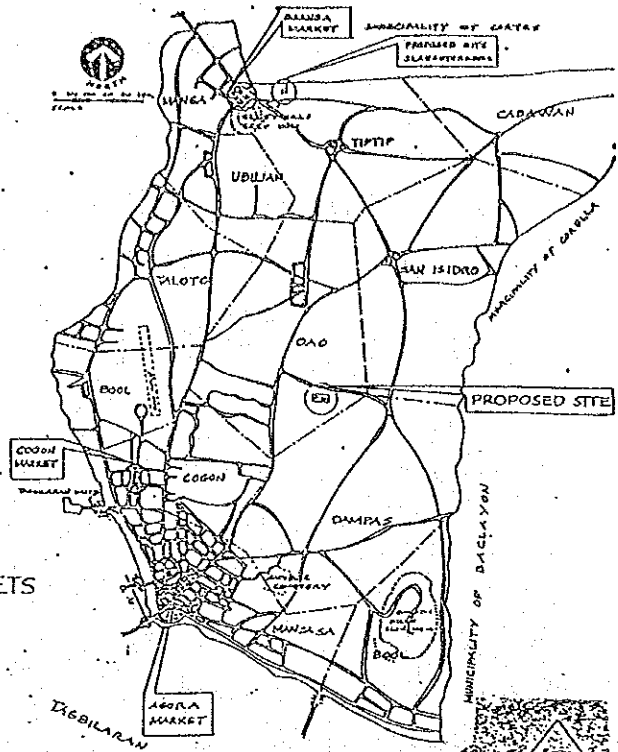
(3) 要請内容

- 1) 新市場建設……………規模436店舗 (3,939㎡)
- 2) 管理施設……………管理事務所、便所、ゴミ集積所、ポンプ小屋
- 3) 周辺整備……………駐車場、構内舗装、荷下ろし場、露店広場等 (2,379㎡)
- 4) 付随施設……………屠殺場 (144㎡)、冷蔵庫 (100㎡)

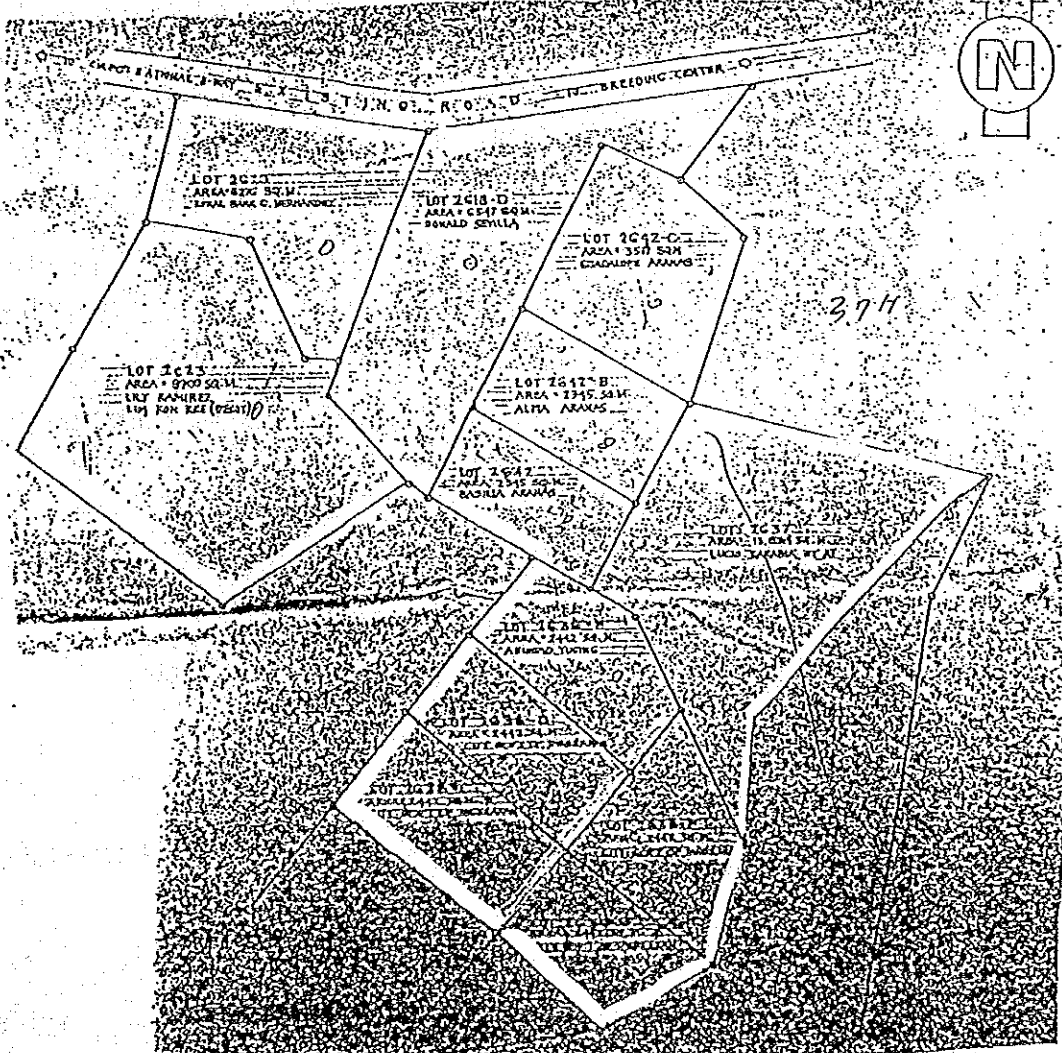
(4) 問題点および所見

現在周辺に民家のないところであり、公共市場はバスターミナルが建設されるのが前提と考えられる。ADBの協力はまだ交渉段階であり、現段階でわが国が市場建設の協力検討を行うのは時期尚早であろう。

図3-5-7 タグビラン市場



VICINITY MAP - PUBLIC MARKETS
TAGBILARAN CITY



8. マンダウエ市場

同市はセブ島の中でも近年特に工業化が進み、年間の人口増加率が9.3%にも達している。既存公共市場は1か所のみで、人口が17万人となった今、非常に手狭で混雑している。人口増加が今後も続けば市場の機能もマヒしかねないとして、既存市場についてはOECFローンによる「メトロセブ開発計画」の一環として建て替を計画しているが、それでも増加する店舗の需要に対応するのは困難と見られることから、2つ目の公共市場の新設を計画している。

(1) 現 状

1) 既存市場

約1haの敷地に約960の店舗が軒を連ね、これらに加え、1,500の露店、臨時店舗があるとのことである。市の中心部で周囲の通りも狭いため、露店がひしめき車の往来にも支障を来たしている。OECFのプロジェクトは当初世銀が計画したものを引き継ぎ、現在D/Dの見直しを行っている。立替後の面積は12,000㎡で、800店舗程度の収容を計画している。一部2階建て、1階が主に食料品関係。1店舗のサイズは2m×3mで地方自治省のモジュールには当てはまっていない。

2) 新サイト

新サイトはセブ湾の埋立地にあり、既存市場から数百mの近接地にある。埋め立ては全体で180haの計画で、現在78ha(43%)が完成しており、1992年には完成の予定である。埋め立て事業は民間企業によるものであるが、市は同社との協定で24haの埋立地を無償で提供を受けることとなっており、内、7haを市場用地として計画している。サイト用地は埋立が終わった部分のもっとも市街地に近いところで、道路のアクセスも出来ている。砂質の引き締まった土壌で、既に建物の建設は可能な状態である。市側は未だ具体的なサイト計画を立案していないが、建物は一階建てを強く要望している。本計画は350店舗程度の市場であるが、将来的には更に拡張を計画している。

(2) 要請内容

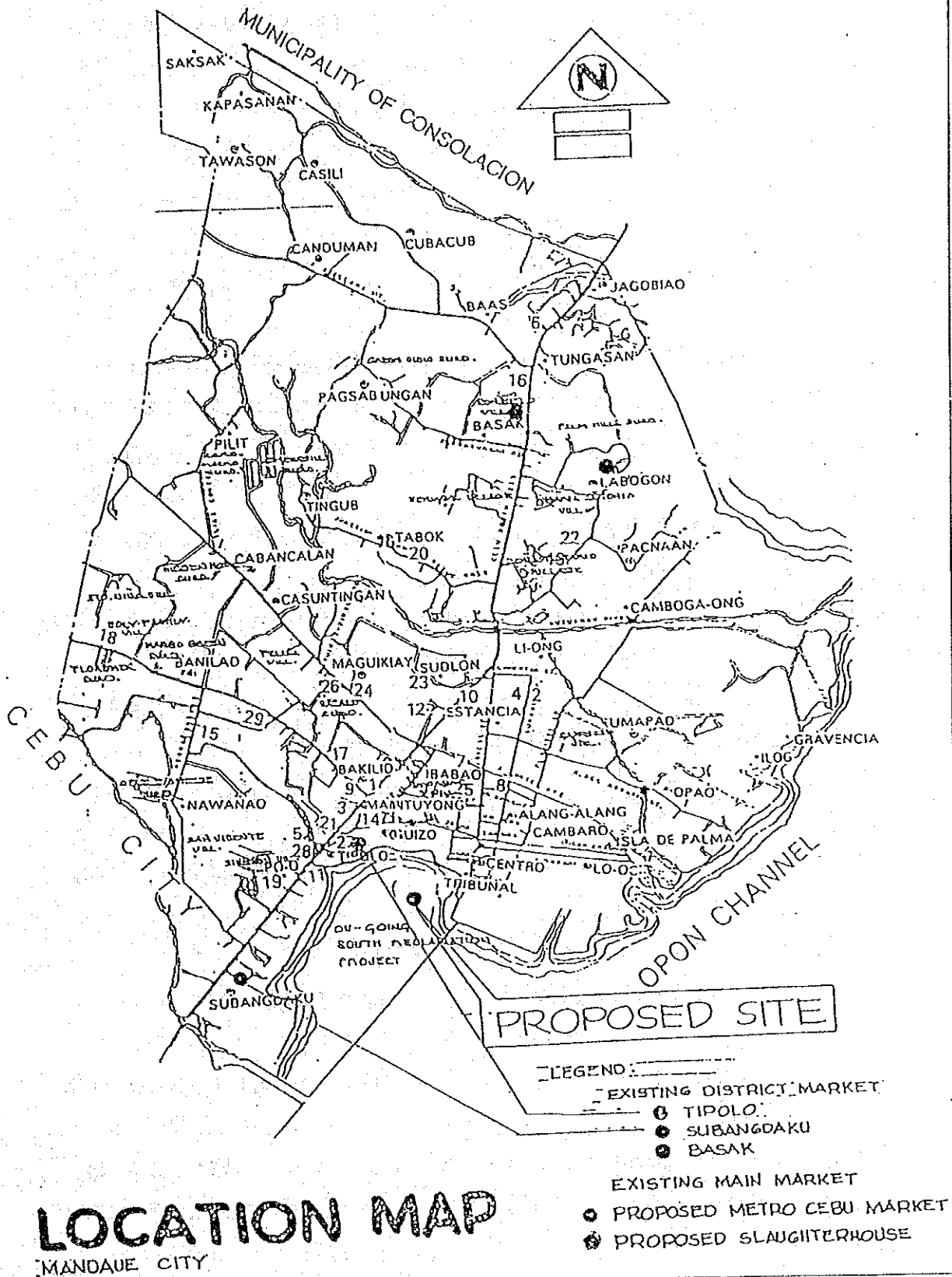
- 1) 市場建物………規模355店舗(1店舗を2名が使用。4,147㎡)
- 2) 管理施設………管理事務所、便所、ポンプ小屋、ゴミ集積場
- 3) 周辺整備………駐車場、構内舗装、荷下ろし場、露店スペース(2,475㎡)
- 4) 付随施設………屠殺場(243㎡)、冷蔵庫(72㎡)

(3) 問題および所見

既存マンダウエ市場と新市場のサイトは数百mしか離れておらず、OECFのプロジェクトとの調整等の問題がある。

建設予定地は、埋立地であるが、コーラルサンドの埋立てである為、地耐力的には日本の砂地の状態で、強度的には問題ない。設備について、現在道路の一部が区画されているのみで、インフラの施設はなされていない。道路は、埋立て隣接地まで来ていて問題ない。

図 3-5-8 マンダウエ市場



9. ミサミス・オクシデンタル県追加4市場

(1) ロック・プラリデル市場

1) 現 状

ロック・プラリデル町はオロキエタとサパン・ダラガの中間地点にあり、距離的には20kmであるが道路面が悪くオロキエタから車で45分位かかる。

町の中心部の道路は舗装されており、市場も中心部に位置している。市場は70m×70mで約0.5haの広さがあり敷地の南側が国道（幅員6m）に面している。

市場内の施設は6棟あり内5棟の柱は鉄筋コンクリート造で、屋根トラスは木造で古くなっているが、構造的にはしっかりしている。

1棟は最近新設されたもので鉄筋コンクリート柱・木製トラス亜鉛鍍金鋼板葺で面積は280㎡である。

この新しい施設内は現在未入居の部分もあり、付近に露店商も見当たらない状況である。

施設の衛生設備については魚市場を別棟として排水等も開口式排水路を設けてある。しかし、放流先は処理施設が無くたれ流しの状況である。

2) 要請内容（プラリデル）

「在来マーケットを解体しその跡に新設計画」

- ① 市場建設……………面積1,195㎡
- ② 管理施設……………管理事務所、便所、ポンプ小屋、ゴミ集積所
- ③ 周辺整備……………駐車場、荷下ろし場、露店スペース等（657㎡）

3) 問題点および所見

現状から見て緊急に改修する必要性は低い。

(2) サパング・ダラガ市場

1) 現 状

サパン・ダラガ町はオロキエタ市より40km北にあり道路が未舗装で整備が悪く、車で90分位かかる状況である。

市場は町の中心地にあり道路幅は6mで町中の道路は舗装されている。

敷地の形状は東西に長く南北に短い長方形であり、南側の長辺が国道（幅員8m）に面し道路から施設まで約5mの空き地は駐車場となっている。

また、敷地は2段となっており、上段に8棟の市場があり、下段（約3m下る）に魚市場がある。

本プロジェクト要請施設は市場の中央にある2棟と屠殺場1棟である。市場のメインの上屋は老朽化が進んでおり木造の各柱に方杖を掛けている状況で、次に台風が来た場合は倒壊の危険も考えられる。（写真参照）

施設のインフラは電気の供給量は充分にあるが給水に関しては供給量が不十分なので給水

施設の整備が必要となり排水施設も処理施設が必要となる。

2) 要請内容 (サパン・ダラガ)

「在来マーケットを解体しその跡に新設計画」

- ① 市場建設……………面積1,776㎡
- ② 管理施設……………管理事務所、便所、ポンプ小屋、ゴミ集積所、水タンク
- ③ 周辺整備……………駐車場、荷下ろし場、露店スペース等 (976㎡)
- ④ 付随施設……………屠殺場

3) 問題点および所見

老朽化がひどい部分の緊急な建て替えが必要である。給水施設についても要検討。

(3) ロペス・ハエナ市場

1) 現 状

ロペス・ハエナ市場はオロキエタから北へ10kmの国道沿いにあり、町のオロキエタ寄りに位置している。

敷地は南北に長く北側の短い部分が国道に面している。国道は未舗装であるが市場内は道路も広場もコンクリート舗装されており、国道から南へ向って緩やかな下り勾配の敷地のため、排水も良く清潔な市場である。

施設は道路を背にして両サイドに区割りされた細長い平屋店舗があり、正面は飲食店がある。また、正面北寄りにあるマーケットは新しく、台風により被災した屋根の修理も完了していた。

今回要請した施設の建設予定地は、中央道路寄りの広場でコンクリート舗装されバスケット・コートとなっており、催し物がある時は臨時店舗が開かれる場所として使われている。

現在場所内の店舗はゆったり配置されており、市場内外とも露店は見当たらなかった。

2) 要請内容 (ロペス・ハエナ)

「廻りの店舗部分約50点を収容できる施設を中央空地に新設」

- ① 市場建設……………面積1,278㎡
- ② 管理施設……………管理事務所、便所、ポンプ小屋、ゴミ集積所
- ③ 周辺整備……………駐車場、荷下ろし場、露店スペース等 (704㎡)
- ④ 付随施設……………屠殺場

3) 問題点および所見

現状から見て緊急に改修する必要性は低い。

(4) アロラン町

1) 現 状

アロラン市場は、オロキエタから南へ約10kmの町の東寄りに位置し、敷地は90m×73.2mの正方形で約0.65haの広さがあり、敷地の周囲に6mの舗装道路がある。

北側に道路を挟んでアロラン川に面している。

市場内には8棟の施設があり、北側の道路を挟んで屠殺場がある。

市場内の施設は道路を背に内側に開口部を持った店舗が西側と南側にあり、東側に野菜売場棟・北東の隅部に魚売場棟・北側に食堂棟・中央北側に果物売場棟・中央南側広場はバスケットコートになっており、前面舗装されている。各施設は郵便局を除いて古くなっているが構造材はしっかりしている。

市場内の排水は開口式排水路があり直接川へ放流している。また、屠殺場は川の上に設置しており排水は直接たれ流しの状況であり、市場から300m離して設置する規定からも問題がある。

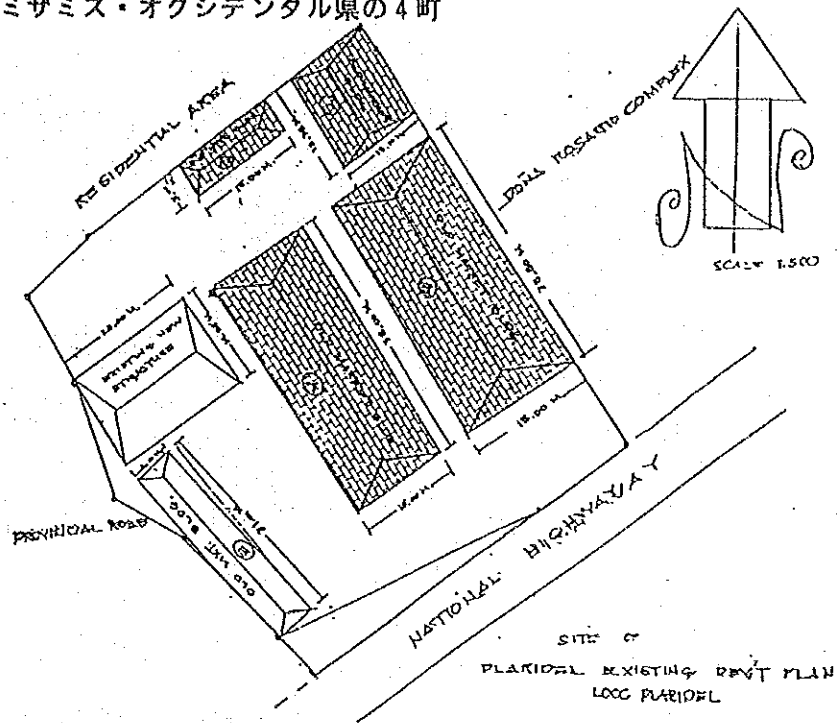
2) 要請内容 (アロラン)

- ① 市場建設……………面積1,345㎡
- ② 管理施設……………管理事務所、便所、ポンプ小屋、ゴミ集積所
- ③ 周辺整備……………駐車場、荷下ろし場、露店スペース等 (740㎡)
- ④ 付随施設……………屠殺場

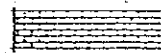
3) 問題点および所見

現状から見て緊急に改修する必要性は低い。

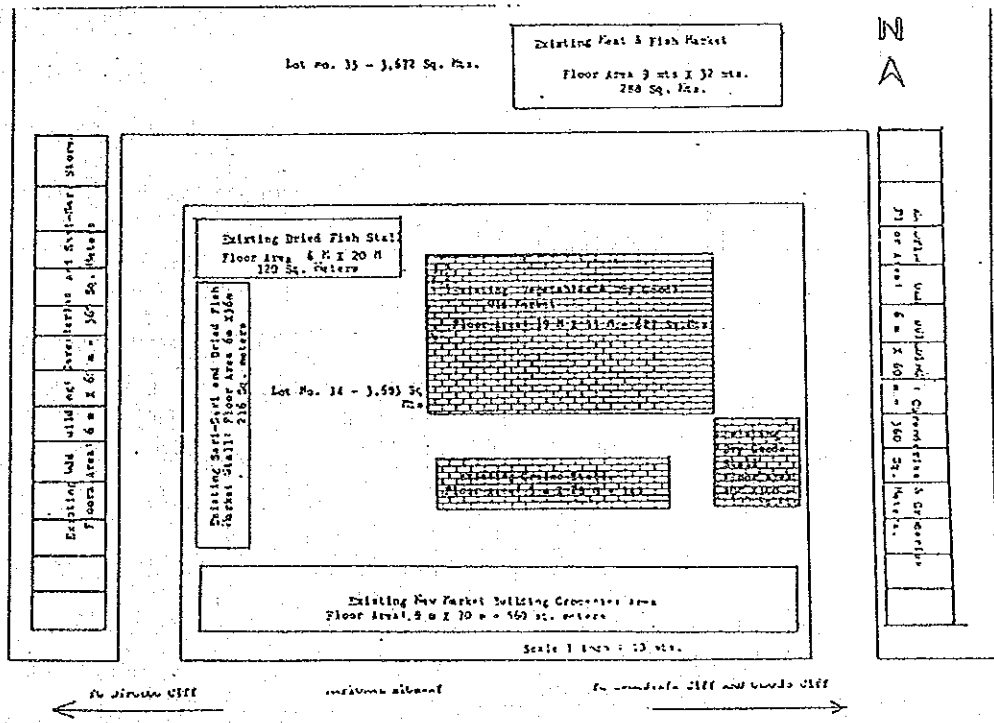
図3-5-9(1) ミザミス・オクシデンタル県の4町



1) プラリデル市場



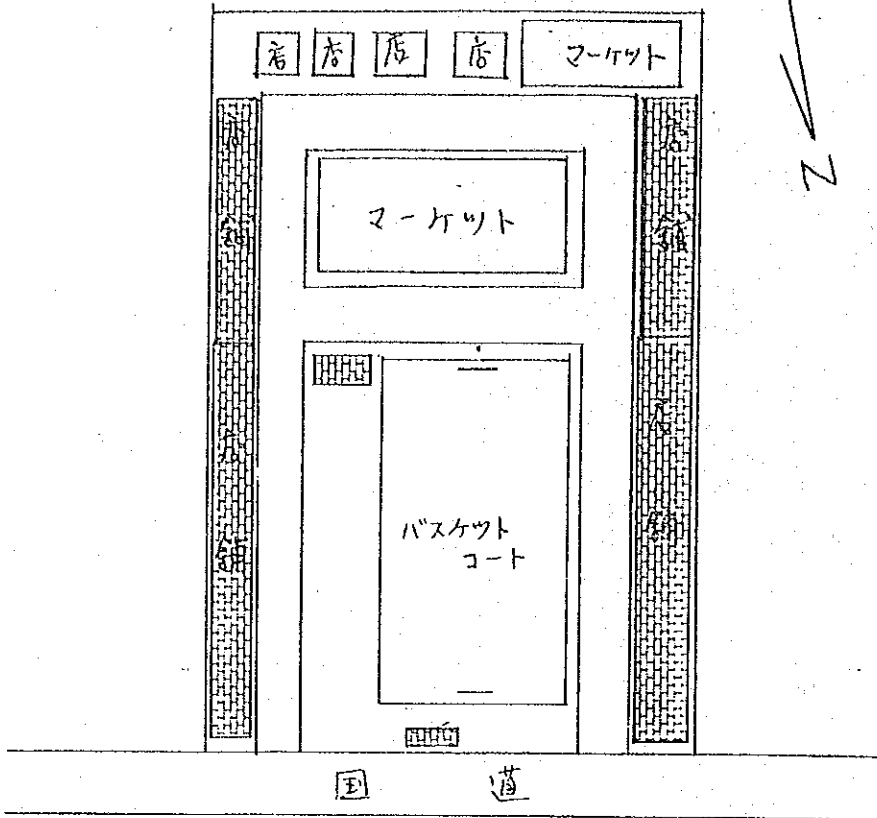
解体建て替え部分



2) サパン・ダラガ市場

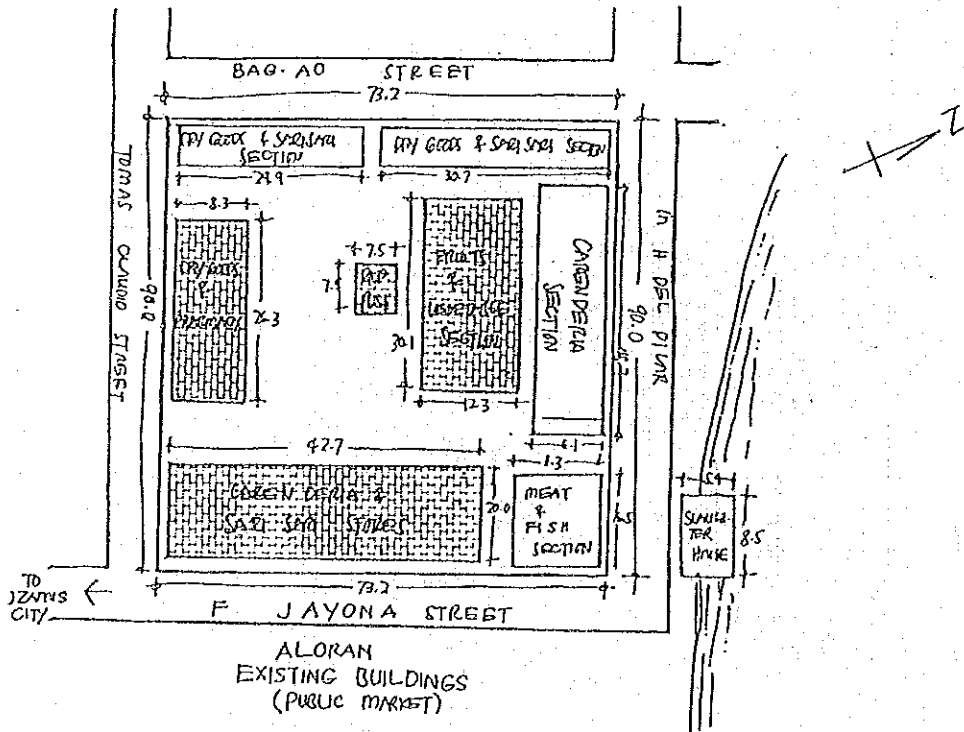
SAPANG DALAGA

図 3 - 5 - 9 (2)



3) ロペス ハエナ

 解体部分



4) アロラン市場

ALORAN EXISTING BUILDINGS (PUBLIC MARKET)

3-6 協力の範囲の検討

3-6-1 検討の基本方針

1. 要請内容は、先方の要請にしたがって分類すると、13のサイトがあり、また、大きくコンポーネントに分類すると、(イ) マーケットビルディングの建設または改修、(ロ) サイトの舗装等のサイトデベロップメント、(ハ) 保冷库の整備、(ニ) 屠殺場の移設または新設、(ホ) その他、に分類される。

基本的には、以上の要請内容について、以下の項目につき総合的に判断して決定することとする。

(1) 先方のプライオリティ

(2) 必要性

- ・台風の被害
- ・老朽化の度合い
- ・市場の混雑の度合い
- ・先方政府による自力改修の可能性の有無

(3) 緊急性

- ・市場の機能の著しい低下
- ・市場機能低下による地域住民生活への悪影響の度合い

(4) 用地問題

- ・建設予定地の土地権利獲得の可能性
- ・建設予定地の不法占拠者の立ち退きの可能性
- ・仮店舗の用地の有無

(5) プロジェクトの効果

- ・衛生面の向上
- ・地域経済への波及効果の大小
- 市場の活性化、流通量の増大
- 店子の売り上げ向上、所得増加、地域経済の活性化の有無

(6) 無償資金協力に適しているか

- ・実施機関の管理能力の有無
- ・先方分の資金負担能力の有無
- ・他の援助国・機関のプロジェクトとの関係との問題
- ・工期が1年以内で納まりそうか、もし納まらない場合期分けが可能か
- ・先方政府、実施機関の協力の度合い
- ・プロジェクトの規模は適正か
- ・プロジェクトによってもたらされる便益が公共的なものとなりうるか

2. さらに本案件が、フィリピンにおける公共市場に対する無償資金協力で実施する最初のプロジェクトであることを考慮すると（本案件が成功すれば、今後、本件をモデルとして、フィリピン国内の多くの地域の公共市場の改修について要請される可能性がある。）、協力の範囲の検討について、特に以下の項目を重視して検討する必要がある。

(1) 案件実施の容易さ

- ・用地問題解決が確実なこと。
- ・先方負担工事の確実な実施等、先方実施機関の強い協力が得られること。
- ・工程上無理なく1年以内に完成できること。
- ・今後多くのサイトを実施していくことが予測されるため、施設、設備等は、なるべく簡易な構造とし、可能な限りコストを下げること。
- ・先方実施機関が十分維持管理できる規模、設備であること。

(2) 衛生面の向上

- ・現在のフィリピンの公共市場は、一般に給排水施設等が十分整備されておらず、あまり衛生的でない。しかし、フィリピンの基礎的な生活向上のためには、これを改善していく必要があるため、改修後の市場は衛生的な市場とすること。（トレイの整備、給排水施設の整備、排水の処理、その他保冷库、屠殺場の整備等）

3-6-2 検討結果

(1) 対象市場

これらの公共市場やサイトの現状調査を踏まえ、協力の可能性を調査団にて検討したところ、候補市場の中には改修の必要性は高いものの、土地所得の問題や不法居住者の移転等種々の問題を有するため現時点での実施には困難が予想されるものも見受けられた。各市場の概況、問題点をまとめると、次のとおりである。

1) カルボン市場コンプレックス

セブ市最大の公共市場で本来の市場の周辺に無秩序に仮設店舗がひしめき非常に混雑している。要請の柱はフリーダムパークおよびワーウィック区域の建て替えであるが、ワーウィック区域には約250世帯の不法滞在者が居住している。セブ市側は、彼らの移転は容易であると説明していたが、具体的な代替地については計画が無く、建て替えを行おうとする場合、大きなネックになる可能性がある。また、規模が大きいだけに事業費がかなり高額になる可能性がある。

2) ラブラブ新市場

既存市場は台風被害の後が大きく残り、建物の老朽化も顕著なことから、市場新設の必要性は高い。またセブの国際空港に近くアピール効果も期待できる。しかし、新サイト候補地として挙げられた2か所のいずれも用地取得の問題があり、この問題の解決が協力検討の前

提である。

3) カルカル市場（ロトンダ市場）

既存市場の部分的な改築および、排水改良により市場環境の大幅な改善が期待できる。但し、既存市場の一隅に仮設の屠殺場があり、その一角が特に非衛生的な状況になっている。屠殺場は市場から 300m以上離れた所に設置しなければならないとの規則があるので、その移転が必要である（調査団帰国後、移転地が確保された旨の通報があった。）

4) オロキエタ市場

マーケットA、マーケットB、バラック群および露店部分の4ブロックからなっており先方要請はこれらの全面的な建て替えであるが、マーケットA、Bともに緊急に建て替えの必要性は乏しいと見られる。但しバラック群は建物が老朽化している上に、舗装も排水施設もないため衛生面にも問題があり、建て替えの必要性は高い。この他に屠殺場の移築の要望があるが、サイト予定地の土地所得の必要がある。

5) ダナオ新市場

既存市場の混雑解消のために新市場を建設する計画。サイト用地は十分に確保されている。一部低くなっているため土盛の必要な所があるが、市側で土盛実施の用途は立っている。用地内に30数世帯の居住者がいるが、市側で移転地を用意しており、計画通り移転が行われるのであれば計画実施に大きな支障はないと考えられる。この点に関し、具体的な移転計画、居住者との合意内容を再確認の必要がある。

6) トレド市（2か所）

市の中心部にあるポブラシオン市と南部のDAS市場の2か所の部分的な建て替えおよび屠殺場の移築が要請の骨子である。両市場とも主建物はトレド市側で改修を行っており、日本に要請されたのは、周辺・拡張部分の建て替えおよび冷蔵庫等である。また屠殺場は両市場を結ぶ道路の途中に用地が確保されている。優先度は他に比して高くはないが、実施の可能性はあると見られる。ただし、新屠殺場の運営・流通は更に検討の必要がある。

7) タグピラン新市場

当初要請は既存コゴンおよびアゴラ市場の改修であったが、これらの市場が市街地の中心部にあって拡張の余地がないことから、郊外に新市場を建設する計画に変更となった。新サイトは市街地から約2km離れた丘陵地にある。市では市街部の混雑解消のため当地周辺に新市街を造る計画を立てており、ADBの資金協力を得てこの隣接地に新バスターミナルの建設および既存道の拡張整備を行う予定との説明があった。新市場建設にはADBの協力の実現が前提として不可欠と判断されるが、その時期は確定しておらず、現段階でのわが方の協力検討は時期尚早であろう。

8) マンダウエ新市場

新サイトはセブ湾の埋立地に十分な敷地が確保されているが、そこから数百m程の所にあ

る既存市場の改修がO E C Fによる「メトロ・セブ開発計画」の一環として実施予定である。このような状況にあることから、新市場の建設への協力は既存市場の改修が完了した後、その妥当性を検討するのが適当であろう。

9) ミサミス・オキシデンタル県追加4市場

今回追加で要請された4市場のうち、サパンダラガ市場は老朽化が進み、柱をつっかえ棒で支えている状態で、倒壊の危険もあることから早急な建て替えが必要である。ほかの3市場については緊急に改修する必要性は認められない。

以上の状況に鑑み、改修の必要性が認められ、また、現段階で事業実施に大きな問題が無いと見られるのは次の各公共市場と判断される。

- ① ダナオ市場
- ② オロキエタ市場（バラック部分の建て替えに限定）
- ③ サパン・ダラガ市場（既存市場の建て替え）
- ④ カルカル（ロトング）市場
- ⑤ トレド市場（2市場）

これら以外では土地所得の問題が解決されればラプラプ市場は協力対象として適当と見られる。

そのほかの市場については当面協力検討は難しい。

2. 市場構成施設

(1) プライオリティ

協議の結果、各市場の構成要素にA、B、Cの3段階の優先順位を付けることとなった。この意味合いは、Aは最優先、Bは優先、Cは可能であれば要望というところであり、日本側の協力範囲としては基本的にはA、およびBを対象とする事とし、Cについては原則として先方負担として検討が可能と見られる。

地方自治省の説明によれば、基本的な考えかたとして、各市場とも主建物を最優先とし、主建物のスペースを十分に取るためには、必要とあれば屠殺場や冷蔵庫を削ることもやむをえないとのことである。

(2) 屠殺場

屠殺場は従来市場に付随した施設として隣接して作られていたが、衛生上の観点から地方自治省は市場本体から300m以上離れたところに設置するよう各自治体に勧告しており、屠殺場移転の必要に迫られている市場は多い。既存の老朽化した屠殺場（小屋）では廃水処理も行われておらず改善の必要性は高い。又、市場運営にとっても、屠殺場収入は大きな要素となっている。代替用地が確保されており優先順位付けが高いものについては計画に含めるのが適当であろう。

(3) 冷蔵庫

売れ残った生鮮食料品の保存のために必要として、対象市場のほとんどの要請に含まれている。但し、既存市場には業務用の大型冷蔵庫を備えたものはなく、新設した場合運営、管理、メンテナンスの能力に懸念がある。B/Dにおいて各市場の状況を詳細に調査してその可能性を検討し、含めるとしても極力規模を抑えたものとするのが適当であろう。又、ダナオのように氷蔵庫（氷を貯蔵するためのスペース）を要望していたところもあるので、各市場の実態にあった内容とする。

3-7-1 公共市場の建築計画

(1) 面積

フィリピンのDILGには公共市場建設の為のマニュアルとして、モデルアプローチ オブパブリック マーケットおよびエンジニアリング ガイドライン スローターハウスがあり、要請された建築計画の面積算定の根拠となっているが、本調査により緊急性の無いものおよび使用可能な施設の再建計画は除外した面積表は下記の表の通りである。

マーケット名		面積 (㎡)	工事種別		用途
セブ市	UNIT 2	4,488.00	2F増築及び改築工事		マーケット
	ワーウィック	3,525.12	新	築	マーケット
	フリーダム	5,183.96	新	築	マーケット
トレド市	屠殺場	300.00	新	築	屠殺場
	Poblacion	630.00	新	築	水産マーケット
	Poblacion	60.00	新	築	製氷所
	Poblacion	90.00	新	築	冷蔵庫
	D. A. S.	90.00	新	築	冷蔵庫
D. A. S.	1,380.00	新	築	乾物マーケット	
マングアエ市		4,147.20	新	築	マーケット
		243.00	新	築	屠殺場
		72.00	新	築	冷蔵庫
カルカル市		1,451.52	新	築	マーケット
		144.00	新	築	屠殺場
		100.00	新	築	冷蔵庫
ダナオ市		4,147.20	新	築	マーケット
		72.00	新	築	冷蔵庫
		243.00	改修	工事	屠殺場
ラブラブ市		4,763.92	新	築	マーケット
		100.00	新	築	屠殺場
		250.00	新	築	冷蔵庫
タグピララン市		3,939.84	新	築	マーケット
		100.00	新	築	屠殺場
		144.00	新	築	冷蔵庫
ミサオクシデンタル市	アローラン	1,278.50	新	築	マーケット
		72.00	新	築	屠殺場
	ロベスハエナ	1,278.50	新	築	マーケット
		72.00	新	築	屠殺場
	ブラリデル	1,195.00	新	築	マーケット
	サバングラガ	1,776.00	新	築	マーケット
		72.00	新	築	屠殺場
オロキエタ市		5,391.36	新	築	マーケット
		192.00	新	築	冷蔵庫
		243.00	新	築	屠殺場

(2) 構造

現在採用されている構造は木構造、鉄筋コンクリート柱に木造のトラス、鉄筋コンクリート柱に鉄骨トラスの3種類があり、規模・土地の条件により使い分けしている。

フィリピンでは公共市場の標準的なモジュールを作っている。(3-7-2参照)

但し、このモジュールでは柱が非常に多くなるので、地方自治省側ではこのモジュールに沿った建築とするか、あるいは広いスパンの建物とするのが適当か、B/Dで更に検討して欲しいと言っていた。

本プロジェクトではワイドスパンが取れ、工期の短縮も図れるので鉄骨造を利用する方法が考えられるが、ミンダナオ島では運搬等に問題があるので在来工法による鉄筋コンクリート柱鉄骨トラス造が望ましい。

屋根は亜鉛メッキ波型鋼板葺・屋根勾配は2/10~3/10が台風に対しても耐力的でありかつ経済的であり望ましい。

(3) 附属施設及び仕上

販売台はコンクリート製とし、表面はタイル貼りとし水洗い出来るものとする。又、床はグラウンドレベルより30cm~45cm高く設定し床仕上はモルタル金ゴテ仕上として水洗い出来るようにし、場内に排水ピットを設け清潔に保たれるようにする。

屠殺場のハンガーレールの高さはフィリピンのエンジニアガイドライン スローターハウスの仕様によるものとする。

鉄骨造部分は施設が海に近い事もあり錆止めは橋梁仕様とする。

(4) トイレ

便所の設計はD. I. L. G. のモジュラー アプローチ オブ パブリック マーケットの仕様により設計する。

(5) ゴミ置場

ゴミ置場は高さ 1.8m程度の壁により仕切り水で洗えるように水栓を設けその排水の末端は排水処理槽へ接続する。

(6) 電気設備

本計画においては電力幹線から分岐して受電し、電気室に変圧器を設置し分電する。照度は通常売場は150L x、便所は50L xとする。

(7) 給水設備

市水のある所で水圧を得られる所は平屋建てなので直接引き込み配管する。ミンダナオ島の場合は既存井戸の水量が乏しい所も見受けられるので、深井戸の掘削の必要性も検討する。

(8) 排水設備

場内排水は出来るだけ開溝とし清掃しやすくするが客の動線内はフタを設置する。

場内排水は処理槽で処理した後放流する。

場内の雨水排水は処理後の配水管に接続する。

(9) 屠殺場

フィリピンにおける屠殺場の技術ガイドラインは1987年9月に国立食肉検査委員会・国立公害防止委員会・移民調整委員会で策定されている。

技術ガイドラインには敷地選定方法・申請書類に添付する図面のスケール・設計上の注意・仕様書・設備設計・構造設計・仕上表・動物継留施設・総合的ガイドライン・建物開口部のディテール・必要機材等が指示されている。

又、アネックスとして施設のタイプ別図面が添付されている。

3-7-2 公共市場のモジュール

(1) フィリピンにおける公共市場のモジュールについては、D I L Gの前身であるD L Gが1989年に策定したモジュラー アプローチが現在も使用されており、その解説書的な図集がD I L Gより発行されている。

モジュラー アプローチによると市場の型式は、3種類あり地域の人口等から型式が決定され、敷地条件からマーケットの面積が決定されている。

- 1) 都市型公共市場 人口30万人以上
- 2) 地方型公共市場 人口29万9千人以下
- 3) ライト型公共市場 人口 5千人以上

(2) 面積算定

上記3種の型式には基本的な店舗面積が決められておりマーケットの設計時には、これを基にモジュール単位数を加算したものに通路及び便所を加えて面積算定を行っているが計算に使用される平均的な店舗別面積は下記(表-1)による。

(表-1)

a. 都市型マーケット		店舗種別
寸法	面積	
1.20×2.40 m.	2.88 sq. m.	魚・肉・干魚
2.40×2.40 m.	5.76 sq. m.	果物 野菜・その他
2.40×3.60 m.	8.64 sq. m.	干物
2.40×4.80 m.	11.52 sq. m.	雑穀・穀物及び 加工食品・履き物
3.60×4.80 m.	17.28 sq. m.	食堂・日用品雑貨
b. 地方型マーケット		店舗種別
寸法	面積	
1.20×2.40 m.	2.88 sq. m.	魚・肉
2.40×2.40 m.	5.76 sq. m.	鳥・アヒル・干魚 果物・野菜 その他
3.60×2.40 m.	8.64 sq. m.	干物 雑貨 穀物及び 加工食品・履き物 日用品雑貨 食堂

(3) 都市型マーケット

都市型マーケットの基本グリットは $14.4\text{m} \times 14.4\text{m} = 207.36\text{m}^2$ を1グリットとし、柱間は7.2m間隔となっており、このグリットを1ユニットとし規模に応じて組合せる事により計画設計される。

建物の最高高さは7.2mであり、入居する基本店舗数は下記の店舗数で成立っている。

コーナー種別	店舗数の目安	平均的な店舗数
A) ウェットコーナー :	40	40
B) セミウェットコーナー :	40	40
C) 雑貨 :	10~20	15
D) 衣類 :	8~10	9
E) その他 :	20~40	30店
Total		134

上記店舗に使用される職種別面積は下記寸法を用いている。

コーナー種別	寸法
魚	1.2×2.4
肉・鳥・アヒル	1.2×2.4
果物・野菜	2.4×2.4
乾物・食品雑貨	2.4×3.6 OR 2.4×4.8
雑貨	2.4×4.8
穀類	2.4×3.6 OR 2.4×4.8
履き物	2.4×4.8
日用品雑貨	3.6×4.8
食堂	3.6×4.8
干魚	1.2×2.4
その他	2.4×2.4

(4) 地方型マーケット

地方型マーケットの基本グリットは、 $9.6\text{m} \times 9.6\text{m} = 92.16\text{m}^2$ を1グリットとし、柱間は4.8m間隔となっており、このグリットを1ユニットとし規模に応じて組合せる事により計画設計される。

建物の最高高さは6.3mであり、入居する基本店舗数は下記の店舗数で成立っている。

コーナー種別	店舗数
A) ウェットコーナー :	24
B) セミウェットコーナー :	16
C) 雑貨 :	12
D) 衣類 :	9
E) その他 :	16
Total	77店

上記店舗に使用される職種別床面積は下記寸法を用いている。

コーナー種別	寸法
魚	1.2 × 2.4
肉・鳥・アヒル	1.2 × 2.4
果物・野菜	2.4 × 2.4
乾物・食品雑貨	2.4 × 2.4
雑貨	2.4 × 2.4
穀類	2.4 × 2.4
履き物	2.4 × 2.4
日用品雑貨	2.4 × 2.4
食堂	2.4 × 3.6
干魚	1.2 × 2.4
その他	2.4 × 2.4

(5) サテライト型マーケット

前記都市型及び地方型よりもっと小規模なマーケットとしてサテライト型式があり、基本グリッドは6.0m×6.0mとし、柱間は4.8m間隔となっている。

建物の最高高さは3.6mであり、入居する基本店舗数は下記の店舗数で成立っている。

コーナー種別	店舗数
A) ウェットコーナー :	6
B) セミウェットコーナー :	4
C) 雑貨 :	4
D) 衣類 :	2
Total	16 店

上記店舗に使用される職種別床面積は下記寸法を用いている。

コーナー種別	寸法
魚	1.2 × 1.2
鳥・アヒル類	1.2 × 1.2
果物・野菜	1.2 × 1.2

以上の各店舗数に各々職種別床面積を掛け算出された店舗面積の42~58%を客用通路面積として加えたものがマーケット面積となる。

(6) 面積計算例

サテライト型	
1店舗当り床面積	$1.2 \times 1.2 = 1.44 \text{ m}^2$
全店舗床面積	$16 \times 1.44 = 23.04 \text{ m}^2 \approx 24.0 \text{ m}^2$
客用通路床面積	$24 \times 50\% = 12 \text{ m}^2$
サテライト型マーケット床面積	$24 + 12 = 36 \text{ m}^2$

(7) その他の施設

このモジュールは前記店舗面積と共に必要となる施設として下記仕様がある。

- 1) 管理事務所 10㎡/人
- 2) 客用便所 2ベンダ/店として 3.6㎡/50ベンダー
- 3) 駐車場 全売場面積の30%以上
- 4) 機械室（ポンプ及びジェネレーター） 最小限 16㎡

(8) 設計仕様書

マーケット設計仕様としては下記の事項がある。

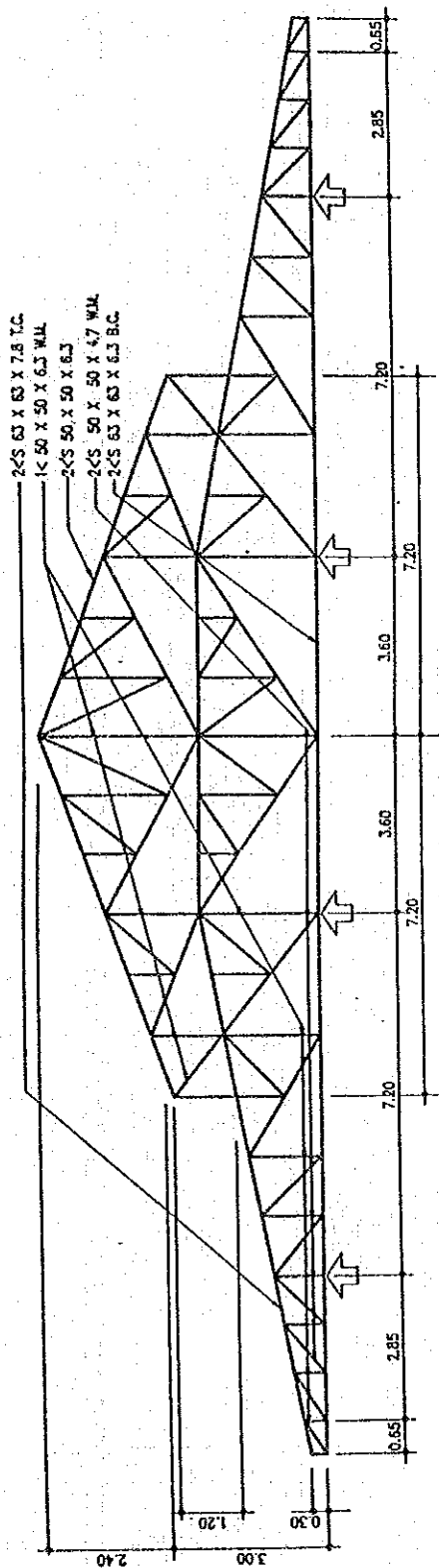
- 1) 構造仕様 柱・屋根構造・各材の強度（図面参照）
- 2) 設備仕様 給水・排水・防火・便所施設・電気（図面参照）
（電気容量に関しては現使用量の30～50%を将来の増設量として加算する。）

(9) 店舗モジュール

店舗モジュールとしては都市型の職種別配置が提示されている。

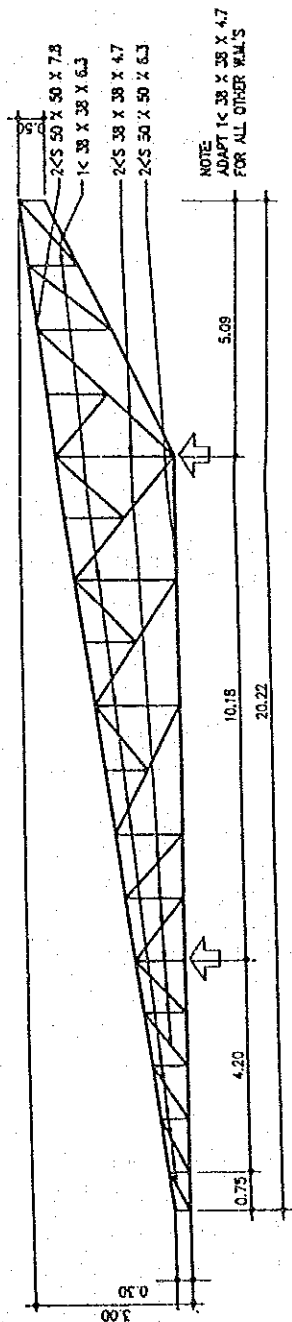
（別図参照）

图 3-7-1 構造詳細圖



NOTE:
 1. ADAPT 1< 38 X 38 X 6.3 FOR ALL OTHER W.L.'S
 2. PROVIDE 6.3MM GUSSET PLATE FOR ALL JOINTS.

3 TYPICAL TRUSS DETAIL (T-2)
 S/A SCALE 1:100
 W/S

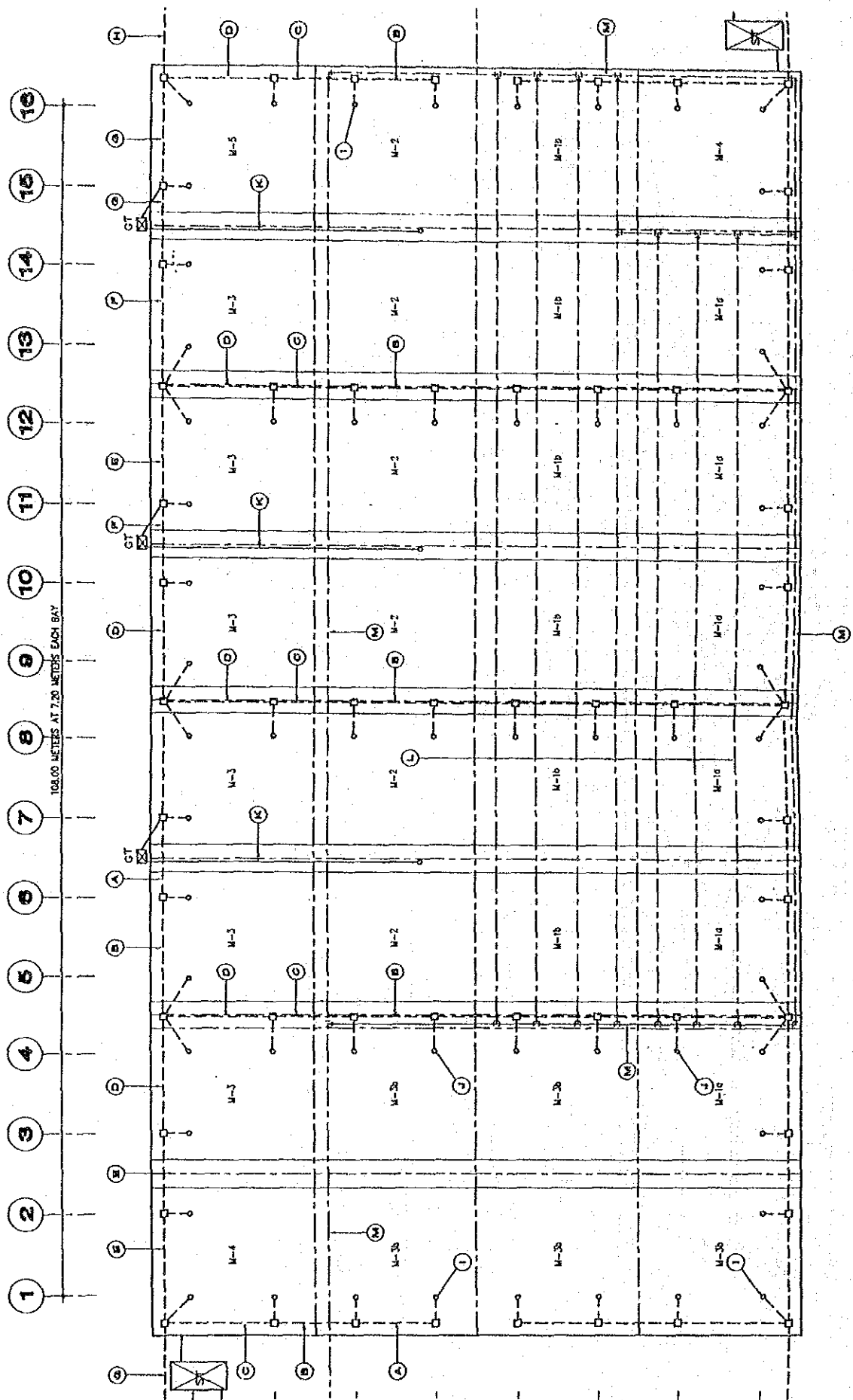


NOTE:
 ADAPT 1< 38 X 38 X 4.7
 FOR ALL OTHER W.L.'S

2 DETAIL OF HT-1
 S/A SCALE 1:100
 W/S

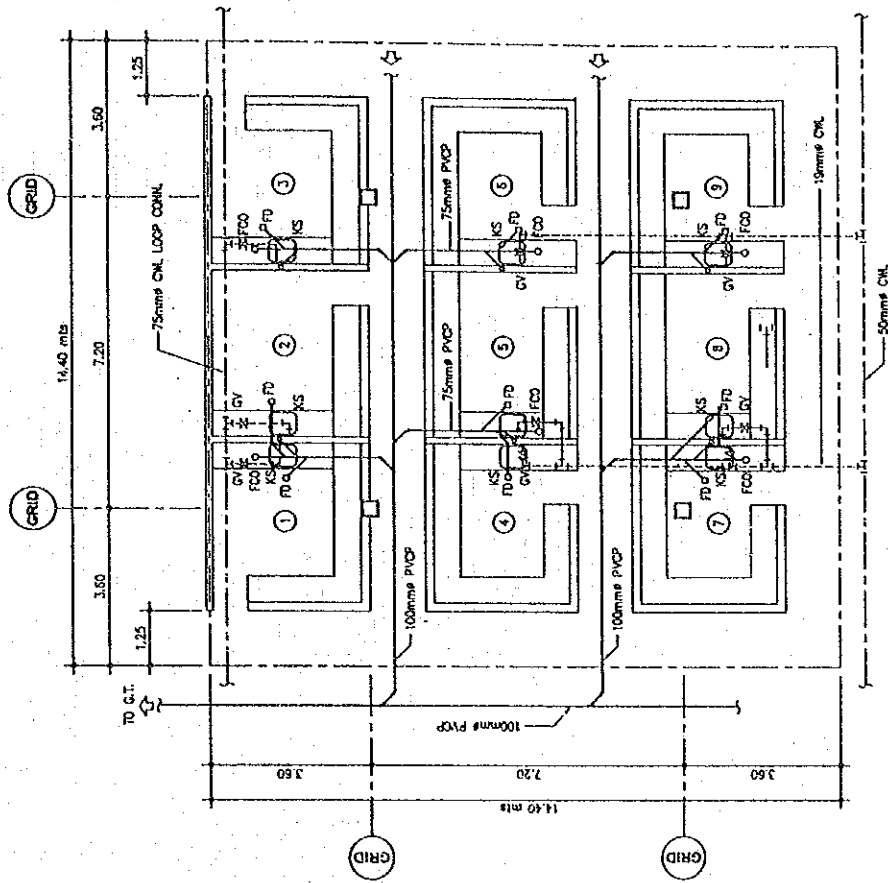
6 TYPICAL TRUSSES DETAILS

图 3-7-2 给排水卫生图

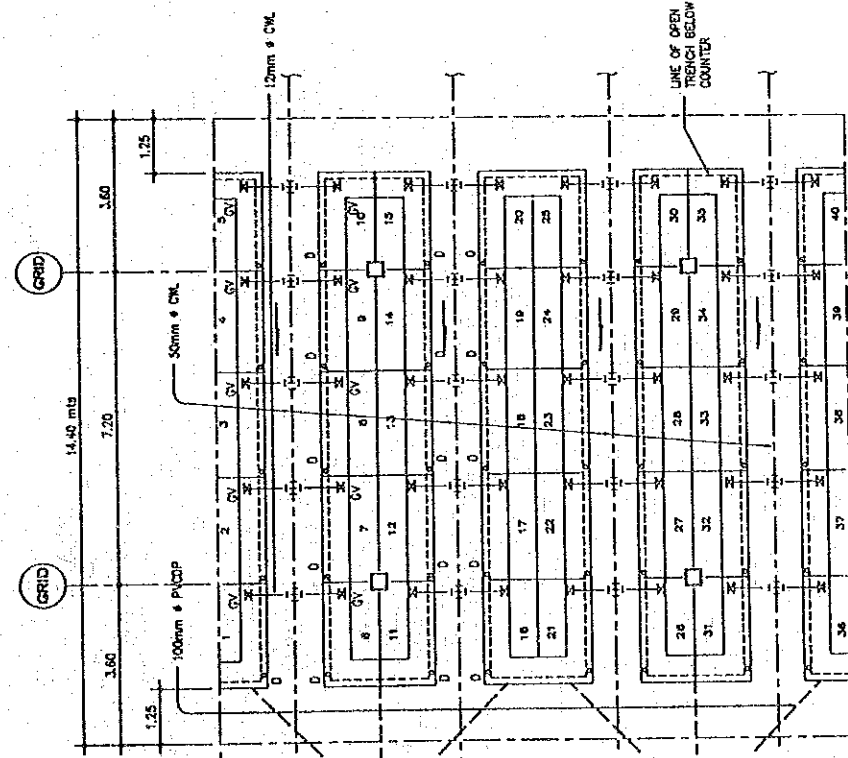


1 FLOOR PLAN PLUMBING LAYOUT
SCALE 1:500 1/16"

図 3 - 7 - 3 給排水衛生詳細図



2 PLAN—MODULE NO.2 (CARINDERIA SECTION)
P13 SCALE 1 : 100 MTS



1 PLAN—MODULE NO.1 (WET SEMI-WET SECTION)
P13 SCALE 1 : 100 MTS

图 3-7-4 电灯配地区

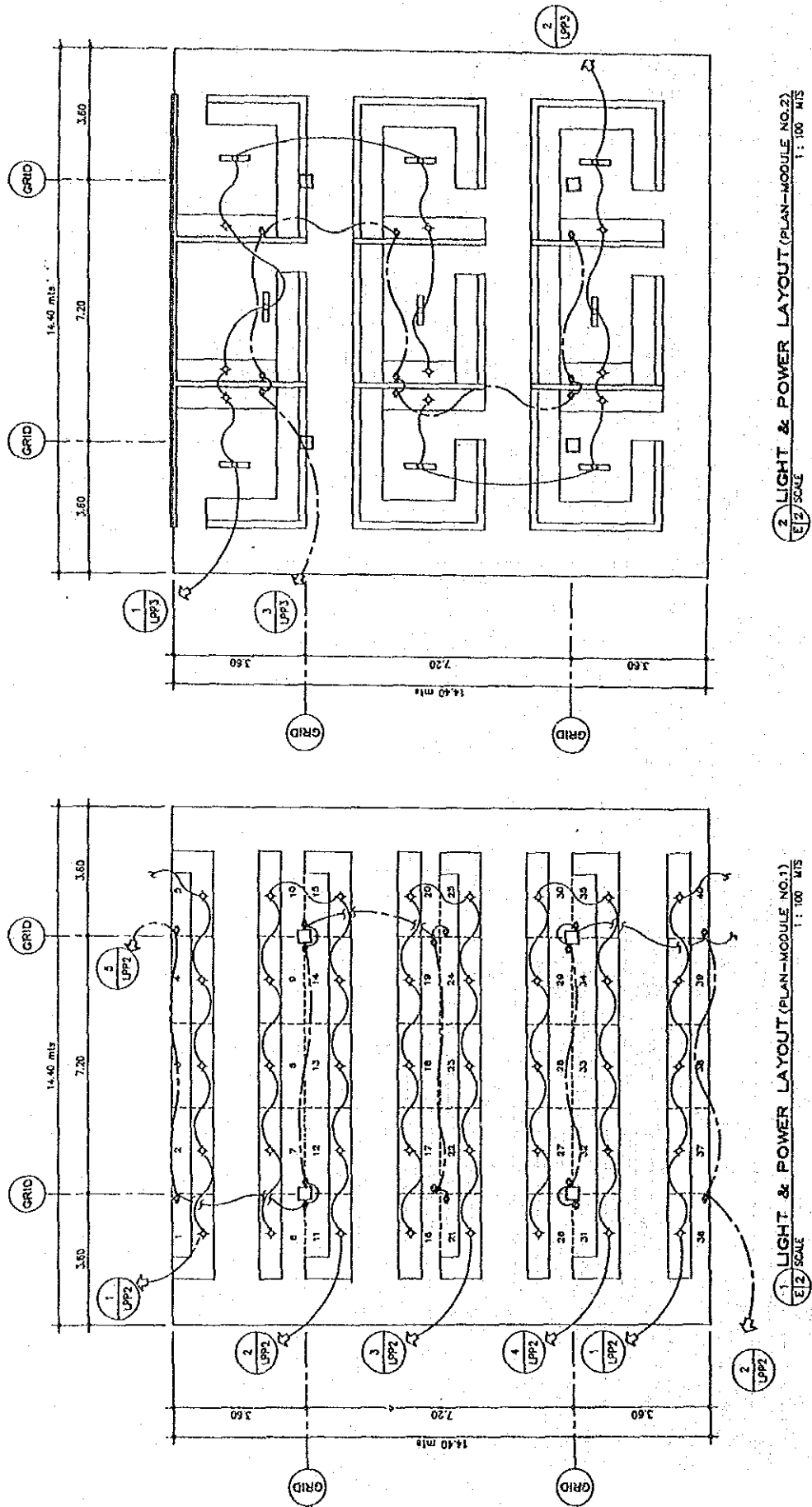
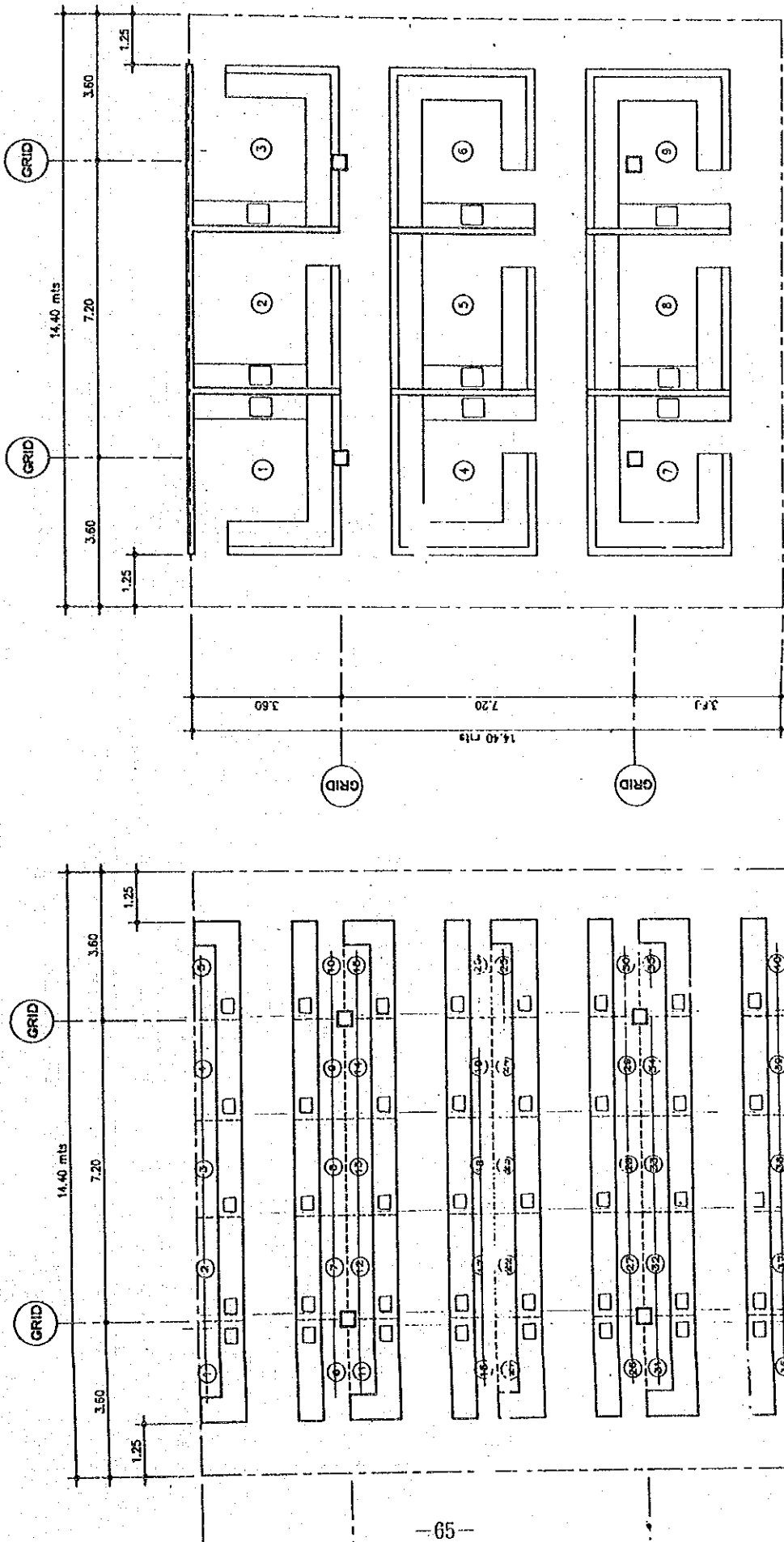


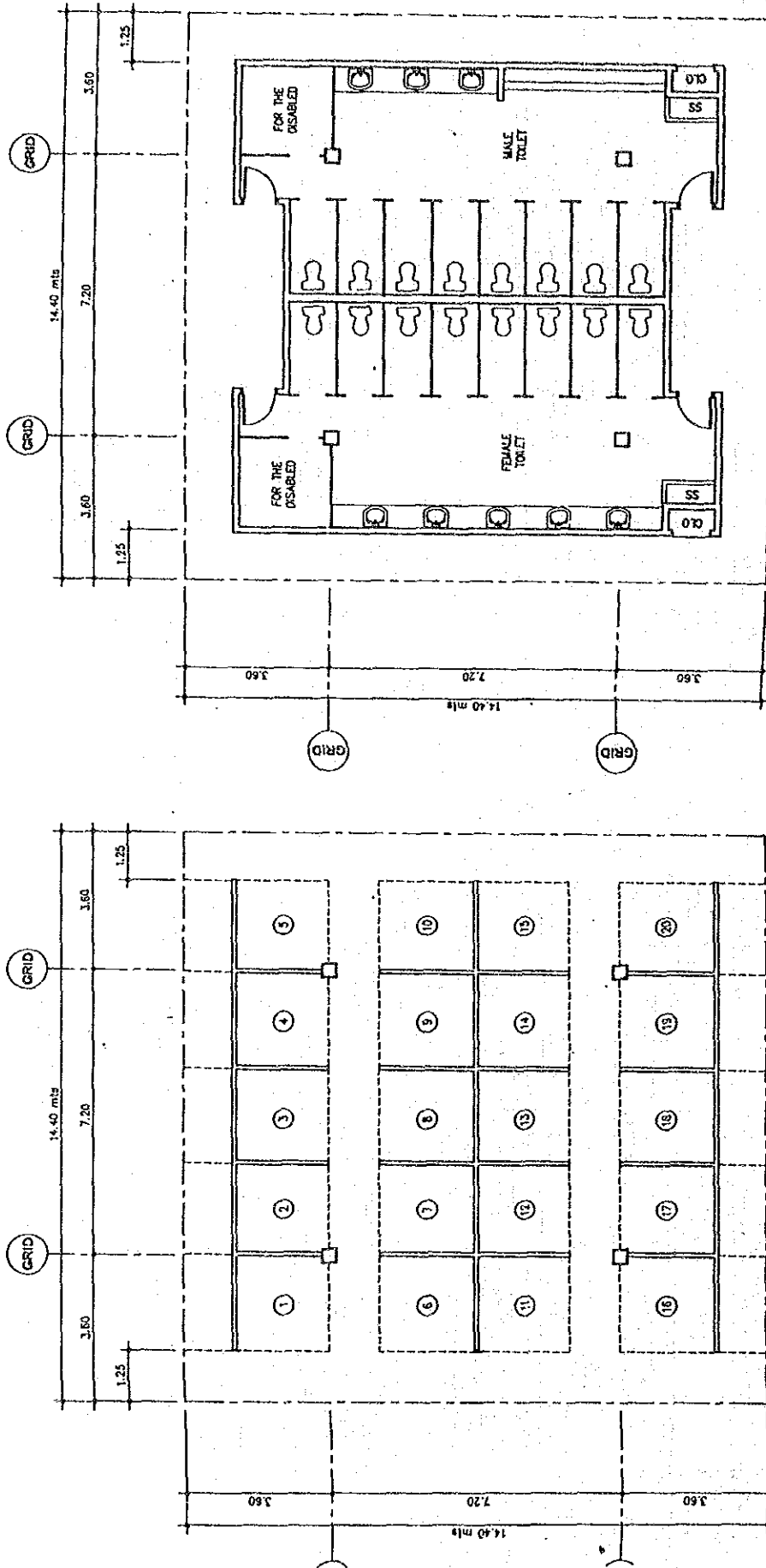
図 3-7-5 都市型モジュール



1 PLAN - MODULE NO.1 (WET, SEMI-WET SECTIONS)
A13 SCALE
1 : 100 MTS

2 PLAN - MODULE NO.2 (GARINDERIA SECTION)
A13 SCALE
1 : 100 MTS

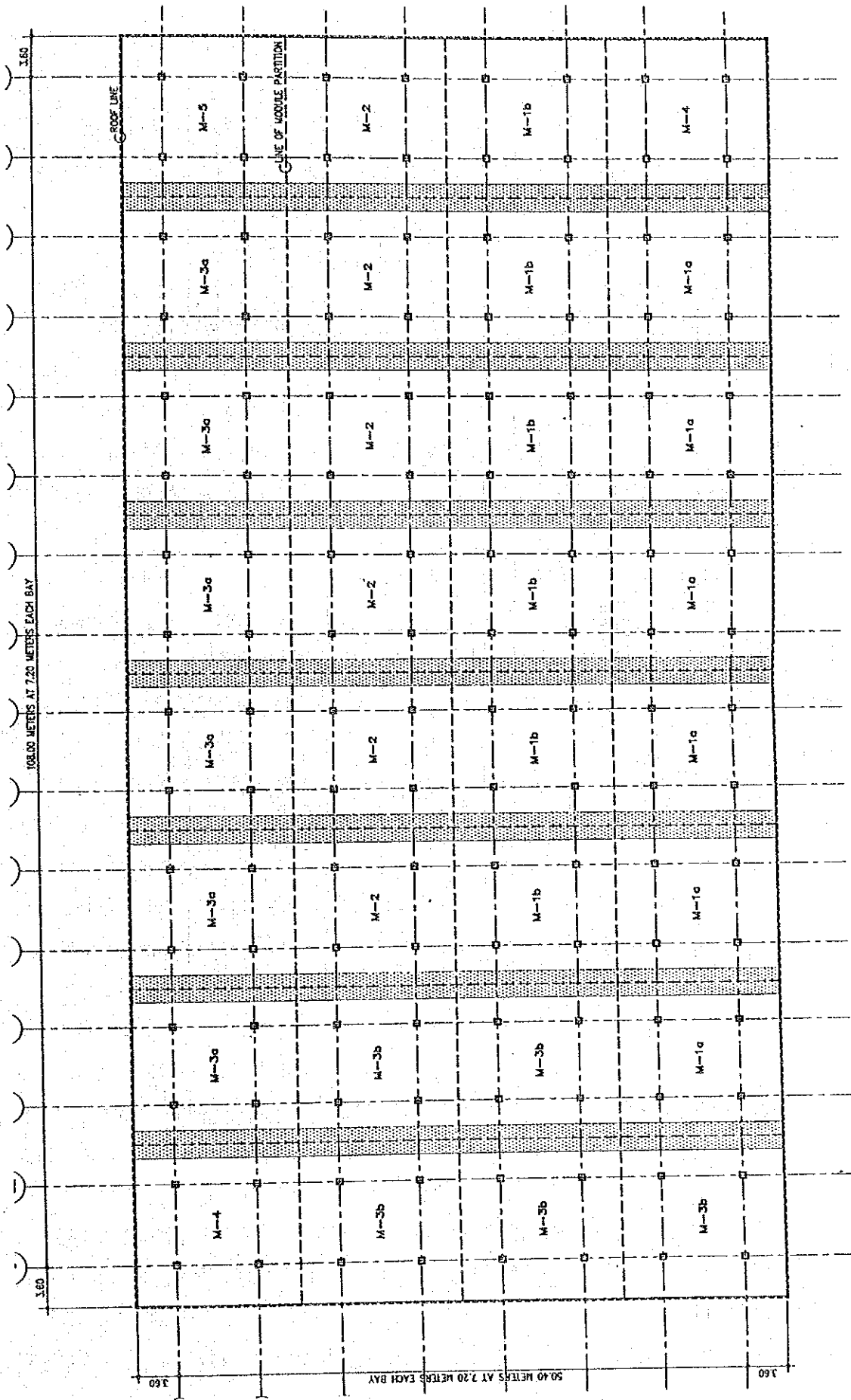
図 3-7-6 都市型モジュール



1 PLAN - MODULE NO.3 (DRY GOODS, OTHERS)
 A1 SCALE
 1 : 100 MTS

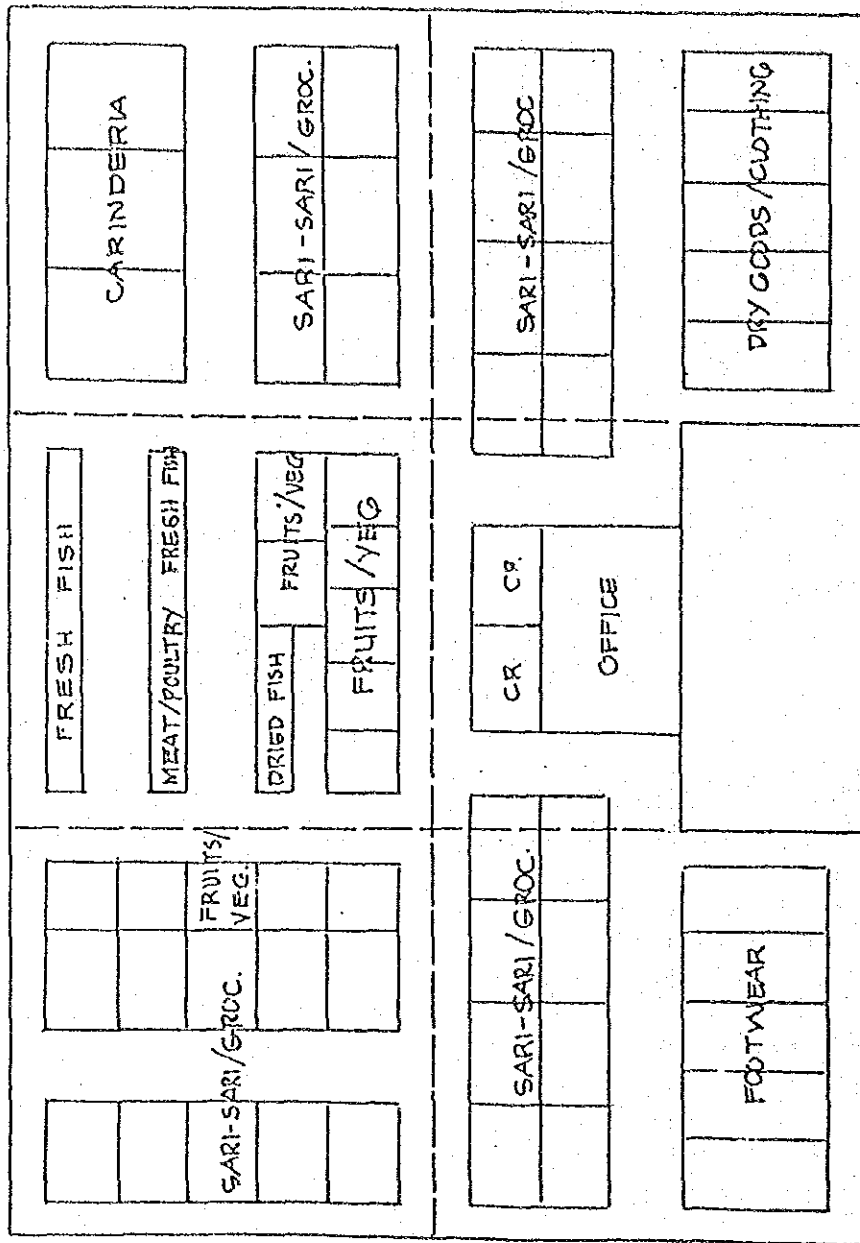
2 PLAN - MODULE NO.4 (PUBLIC TOILET)
 A1 SCALE
 1 : 100 MTS

図 3-7-7 都市型モジュール組合せ図



1 KEY FLOOR PLAN
 A2
 SCALE 1:300
 NTS

図 3-7-8 地方型マーケットモジュールの5.5倍



第4章 結論と提言

4-1 本計画の必要性および調査団所見

ここ数年フィリピンにおいては次々と大きな自然災害に見舞われている。平成3年6月に起こったピナツボ火山の大爆発や平成2年のバギオの地震災害はその被害の大きさからいまだに記憶に新しいものである。これらに加えて毎年のように襲来する台風が、人々の生活基盤や社会基盤に大きな被害をもたらしており、その被害の復旧も上記大災害の復旧に加えてフィリピン政府にとって現下の急務となっている。

本件は1990年にフィリピン中部を襲った台風ルピンによって被害を受けたセブ県、ボホール県やミンダナオのミサミス・オクシデンタル県の公共市場の改修を図るものである。このような地方都市においては公共市場が人々の食料や日常必需品の供給のための主要な施設であり、地域経済の中心的な役割を果たしている。

これらの各市場の現状や台風被害状況については、セブ市近郊のラブラブ市場やダナオ市場等で一部建物が損壊し、撤去されたままとなっている所や、窓、屋根、軒等に大きな被害が残っているところがあり、当時の台風被害の大きさを物語っている。しかし、それら以外の市場については台風被害を受けた後、フィリピン政府からの台風被害復興基金 (Calamity Fund) や各市独自の資金で概復旧が為されている所が多い。

むしろ問題は過密化、老朽化によって衛生状況が非常に悪化していることである。今回の調査で現地を見た限りでは、台風被害の復旧という側面もさることながら、このような問題を抱える公共市場の改善を図ることが市民生活の安定や、保健衛生の向上を図る上で緊急な課題となっていると判断された。但し、これらの公共市場やサイトの現状を調査したところ、候補市場の中には改修の必要性は高いものの、土地取得の問題、不法居住者の移転問題や、ほかの援助プログラムとの関係から、現段階ではわが国の無償資金協力の実施を検討するのは困難で、問題の解決をまたなければならないと判断される市場が何か所か見られた。この中には先方が優先順位1位としてあげたセブのカルボン市場コンプレックスも含まれており、先方の優先順位通りの選定はできなかったが、今回の調査の結果、協力対象として検討を提案された各市場はいずれも改修の必要に迫られているものである。

今回調査を実施した中で特に印象的だったのは地方自治省の積極的な協力ぶりで、それはわが方が事前に送付した質問書に答えるために予め係官を各自治体に派遣して資料を集め、本調査団訪問までに詳細な解答を用意していたことにも現れている。本件が実施されれば地方自治省関係のプロジェクトへの最初のわが国の無償資金協力となることから、次官以下関係者は本件の実現

に非常な熱意を持っていることが感ぜられた。

地方自治省によれば1992年1月から「地方自治体法(Local Government Code)」が施行されることとなっている。この法例はこれまでの中央集権的な行政を改め地方自治体の自主性をより尊重した行政形態に変革することを目的として制定されたもので、この施行によって、これまで中央政府が行っていた行政サービスのかなりの部分が地方自治体に移管されるとのことである。この結果地方自治体の責任の増加に伴って経費負担を増加するが、それに必要な財源の確保は容易ではない状況である。このような中、台風被害に遭った自治体では被害の復旧のために乏しい財源の中から多額の支出を余儀なくされており、種々の問題を抱える公共市場の改修、改善に取り組む余裕がなくなっている。

今回要請のあった公共市場は各地方の住民の生活を支える核となる施設であり、老朽化し、また台風によって被害を受けたこれらの市場の改修を行うことは地方の住民の生活の安定や、保健衛生の改善にも寄与するものであり、わが国の無償資金協力の対象として妥当と判断される。したがって、協力可能と見られる候補市場について早急な基本設計調査実施の検討が適当である。

4-2 基本設計調査実施上の留意点

今後、基本設計調査を実施する上で、留意すべき点としては、以下のような点が上げられる。

(1) 土地取得・居住者の移転

新サイトに市場を建設する場合には土地所得やサイト内居住者の移転が確実に行われるのが重要なポイントとなる。移転経費手当、補償、土地所有権等、基本設計調査の中で文書による明示を求め、確認する。

(2) 工事中の店舗移転

同一サイト内に立て替える場合、現在入居しているテナントが工事中仮移転することとなるが、これについてのテナントの了解、移転用地、移転方法、移転経費負担および、再入店の際の配置計画について確認する。

(3) 設計基準

建築設計や污水配水の基準に関してはフィリピンのマーケットモジュールや、屠殺場ガイドラインを考慮の上、計画を策定する必要がある。又、建物の水準については、ほかの類似施設(OECFによる市場等)も参考にし、現地状況に適った内容とする。

(4) 設備関係

市場や屠殺場の排水処理に留意。又、ミンダナオ等の市場には水道施設が不十分と見られるところもあるので、給水設備についても検討する。

(5) 無償資金協力システム

地方自治省はこれまで日本の無償資金協力を受けた経験がないので、無償のシステムについて、再度十分に説明し、理解を得るのが適当である。

(6) 調査の安全確保

今回の対象地域は治安上問題のないところとの説明を受けているが、特に山間部での調査の実施に当たっては、現地関係者と打ち合わせを行い、安全に十分留意した慎重な行動が必要である。

付 属 資 料

- I. 公共市場の収入関係資料
- II. 主要面会者リスト
- III. 協議議事録
- IV. 収集資料リスト

資料 I 公共市場の収入関係資料

(1) トレド市

Republic of the Philippines
City of Toledo
-000-

Economic Enterprises Management Services

- I a. Name of Market - Toledo Public Market
b. Floor area - 7,392 sq. m.
c. No. of Stalls - 174

d. Stall Dimension

Class "A" stall (28 sq.m)	-	57 stalls
" " "B" stall (24.5 sq.m)	-	8 "
" " "C" stall (14 sq.m)	-	88 "
" " "D" stall (21 sq.m)	-	21 "
Total	-	174 stalls

e. Rental/day

"A" stalls - Front/corner	- - -	₱ 25.00/day
Ordinary	- - -	21.00 "
Side/corner	- - -	21.00 "
Ordinary	- - -	17.00 "
Back Corner	- - -	17.00 "
Ordinary	- - -	14.00 "

"B" stalls - Front/corner	- - -	22.00/day
Back/corner	- - -	15.00 "

"C" stalls - Inside/Corner	- - -	10.50/day
Ordinary	- - -	8.50/day

"D" stalls - Center stalls	- - -	15.00/day
----------------------------	-------	-----------

f. Actual no. of stallholders - 172

g. Estimated no. of ambulant vendor - 300 ⁵⁰⁰

II a. Name of Market : Don Andres Soriano Public Market
(under Renovation)

b. Floor area - - - - - 2,160 sq.m.

c. No. of Stalls - - - - - 61 stalls (as of 9/10/91)

80 Stalls

d. Stall Dimension

15	Sq. M.	- - - - -	11	stalls
16	"	- - - - -	6	"
18	"	- - - - -	32	"
20	"	- - - - -	9	"
31	"	- - - - -	<u>3</u>	"

Total = 61 stalls

e. Rental/day

Proposed stall rental rates are subject for review and to undergo public hearing.

- f. Actual N. of stallholder - - - - Stalls under construction
- g. Estimated no. of ambulant vendors - - - - 250 *450*

Prepared by:

OSCAR B. SOLIJON
Market Supervisor III

(2) カルカル町

Market

No. of existing Markets

1) Public -

- a) Rotunda Public Market
- b) Valencia Public Market

2) Private - 1

Calidangan Market - lot is owned by private person but municipality collects and issues tickets.

Land Area

Rotunda Public Market

Total Land Area - 10,200 sq. meters

Total Floor Area - 3,564 sq. meters

Permanent Stalls - 580 sq. m.

New Stalls - 12 units (constructed 1990)

	<i>284.58</i>		<i>569.16</i>	
Old building (2 units) - 350 sq. m. each - 1,750 sq. m.				} <i>1,969.08 sq. m.</i> <i>total area in this bldg. etc</i>
New building (2 units) - 750 sq. m. each - 1,500 sq. m.				
<i>fish section</i> New building (2 units) - 375 sq. m. each - 750 sq. m.				
New camarind - 86 sq. m.				

Stalls and Vendors:

No. of permanent stalls - 41 (+ 1990 12 stalls)
stall dimensions - 4 sq. m. (new stalls 6m x 4m.)

Rent/day - 14.00

New Stalls - 1200.00/mo.

No. of Ambuants/Regular/Transient - 100 & 50 - depends upon volume from . 25.00/day

a) Wet Section

Fish/Sec. foods - No. of boxes - 50
Dimension - 1 sq. m.
Rent/day - 150.00

Meat/Poultry - No. of boxes - tables
Dimension - 1 m. x 4m/table
Rent/day - 14.00/table

b) Semi Wet Section -

Dried Fish - 15 tables - No. of tables
1 m. x 2 m. - dimension
13.00/table - Rent/day

Fruits - Ground - 2 sq. m. / vendor
12.00 - Rent/day

Vegetables - 22 tables - No. of tables
1 m. x 2m. - dimension
14.00/ table - Rent/ day

c) Carenderia - 10 tables - 1 m. x 4m - dimension

	No. of boxes	Dimension	Rent/day
Grains/Cereals	9 stalls	20 sq.m.	4.00/day
Others	5 stalls	1 m x 4m	1.00/day

Tuba vendors are licensed at ₱18.75/quarter

Slaughter fees - ₱5.00/pig average slaughtered/day - 50

MARKET REVENUES

a) Stalls rentals - for permanent stalls - ₱4.00/day, multiplied by 29 (no. of stalls) :: 365 days

Rental for the 12 new stalls - ₱204.00

b) Cash tickets - a minimum of ₱7,000.00/yr.

c) Entrance fees - ₱279,700.00

d) Other fees: - Parking Fees - pedicab - ₱1.00/day ; trucks - ₱6.00

Market Expenses

a) Salaries/Wages/Allowances:

-2 regular employees at ₱1,692.00/mo. - ₱55.70 / day

-14 casuals at ₱55.70 / day each

b) Supplies (₱4,000.00/yr. may be made when there is

c) Maintenance Repair (fortuitous event like typhoons.

Management

a) Municipal Treasurer - Remigio C. Jamilarin

b) Personal Complement -

Market Collectors:

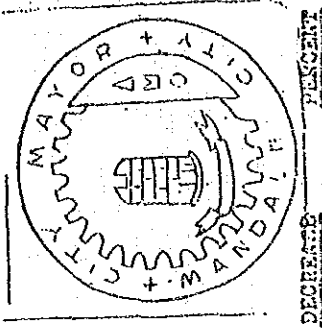
Existing Physical Condition

a) Description - water utility - two communal faucets
 Electrical Utility - good condition
 Garbage collection - provided with one garbage truck
 is not sufficient for garbage collection and disposal
 Administration Office - none

b) No. of buildings 7 big buildings and 41 permanent stalls

c) Year when built - 1947, 1982, 1985, 1989 when last renovated - after Typhoon Kitang

d) Total Floor Area - 3,564



REPUBLIC OF THE PHILIPPINES
City of Mandau
Office of the Market Superintendent

MARKET CASH COLLECTION REPORT
Month of September, 1991

Recd: 5 copies 10/17/91
for

COLLECTORS	AREA	AMOUNT		INCREASE	PERCENT
		Previous Month	This Month		
1. Cecilia	Albano	29,821.00	28,252.00	-	(5%)
2. Lydio	Good	18,781.00	18,164.00	-	(3%)
3. Arden	Quinad	18,075.50	17,587.00	-	(3%)
4. Grace	Linana	11,000.00	17,426.00	6,426.00	58%
5. Floredith	Gigano	23,301.00	19,282.00	-	(34%)
6. Jene	Marincuran	15,850.00	13,324.50	-	(4%)
7. Norma	Vera	13,712.00	12,514.00	-	(9%)
8. Rocafinda	Mendoza	12,669.00	12,269.00	-	(3%)
9. Lolita	Apurri	6,891.00	6,819.00	1,928.00	28%
10. Cirila	Azoren	9,474.00	7,820.00	-	(17%)
11. Hildegros	Sultan	6,585.00	7,487.00	505.00	(14%)
12. Mercedes	Prada	7,182.00	6,813.00	-	(5%)
13. Aida	Carbo	5,249.00	4,860.00	-	(7%)
14. Rosario	Judilla	3,101.50	2,657.50	-	(14%)
15. Elena	Catalyo	2,259.00	2,447.00	188.00	8%
TOTAL CASH TICKET COLLECTION		281,949.00	275,722.00		
RENTALS		32,240.75	29,052.20		
PENALTY		1,332.50	1,305.85		
SLAUGHTER FEES		78,529.50	71,100.30		
TOTAL CASH COLLECTION		294,152.15	277,180.35		
September, 1990				Increase	Percent
P 221,168.95				P 277,180.35	P 56,011.40
					25%

VERIFIED & FOUND CORRECT BY: JOY B. BINGOLIVER

PREPARED BY: JOY B. BINGOLIVER

REPUBLIC OF THE PHILIPPINES
City of Mandanao
Office of the Market Superintendent

COMPARATIVE STATEMENT OF MARKET AND SLAUGHTERHOUSE COLLECTION FOR THE YEAR
1990 and 1991
As of September, 1991

MONTH	CASH TICKET	RENTALS	SLAUGHTER FEE	TOTAL	CASH TICKET	RENTALS	SLAUGHTER FEE	TOTAL	INCREASE	PERCENT
Jan.	125,043.50	17,077.35	77,501.35	219,622.20	129,469.30	18,358.55	80,499.00	228,326.85	8,704.65	4 %
Feb.	117,453.40	15,536.95	71,304.20	204,294.55	128,231.10	17,830.65	75,513.50	219,225.05	14,930.50	7 %
March	133,456.60	17,500.45	73,407.55	224,364.60	127,819.00	30,816.15	72,829.45	229,465.60	73,102.00	33 %
April	127,523.50	16,800.20	66,478.55	210,802.25	123,881.20	33,225.55	70,673.55	227,780.30	26,883.05	12 %
May	133,119.70	17,102.25	75,781.25	226,002.20	127,328.00	33,350.60	76,116.10	234,804.70	72,802.50	32 %
June	124,600.40	22,812.00	74,468.75	221,881.15	127,775.50	32,735.05	75,820.30	236,330.85	54,472.70	25 %
July	127,601.10	15,022.15	76,357.85	218,981.10	128,111.00	34,023.50	76,565.10	238,699.60	69,718.50	32 %
August	125,501.30	14,323.60	78,017.75	217,842.65	121,949.00	33,575.25	79,629.50	235,153.75	76,311.10	35 %
Sept.	125,279.50	20,214.50	75,695.15	221,189.15	123,722.00	30,358.05	71,100.30	225,180.35	56,031.20	25 %
TOTAL	1,159,578.00	156,479.25	669,002.40	1,985,059.65	1,152,901.10	266,203.35	674,723.40	2,093,827.85	108,768.20	5 %
Oct.	132,974.20	15,677.40	75,612.45	324,264.05						
Nov.	119,253.50	15,305.70	63,057.50	302,521.30						
Dec.	122,276.60	16,405.35	88,515.50	327,197.45						
TOTAL	1,223,022.30	203,046.70	899,219.95	2,325,288.95						

PREPARED BY:

ROJIMA C. DEL CANTILLO
Cash Clerk

VERIFIED AND FOUND CORRECT:

BERNARDO M. ALVINO
Acting Market Superintendent

NOTED BY:

JOSE O. RENCANAN
City Treasurer

Republic of the Philippines
City of Lapu-Lapu
OFFICE OF THE TREASURER

STATEMENT OF INCOME AND DISBURSEMENT
MARKET AND SLAUGHTERHOUSE
JANUARY 1990 TO SEPTEMBER 30, 1991

JAN. TO SEPT.
1991

JAN. TO DEC.
1990

INCOME		
Receipts from Market	P 510,356.00	P 303,832.00
Receipts from Slaughterhouse	133,610.41	93,422.22
Rent	873,517.50	733,603.25
Total Income	<u>P 1,517,483.91</u>	<u>P 1,130,857.47</u>
Less: Disbursements		
Personal Services	P 1,073,374.77	P 773,800.52
Maintenance and Operating Expenses	<u>205,700.84</u>	<u>164,580.37</u>
Total Disbursements	<u>P 1,279,075.61</u>	<u>P 938,380.89</u>
EXCESS OF INCOME OVER EXPENDITURES	<u><u>P 238,408.30</u></u>	<u><u>P 192,476.58</u></u>

NOTED BY:

CERTIFIED CORRECT:

ONOFRE C. MORANTE
City Treasurer

TERESITA B. LIM
Accountant IV

資料 II 面会者リスト

(1) 地方自治省

Cesar N. Sarino	Undersecretary for Local Government, DILG
Andres V. Sanchez	Assistant Secretary of DILG
Benjamin M. Catane	Director, Bureau of Local Government (BLGD)
Joso Miguel R. Dela Rose	Assistant Director, OPDS
Emmanuel D. Cortero	Staff, Local Government Development Office (LGDO)
Fermina G. Aliora	同上
Haerel M. Barber	”
Duminacler A. Clavejo	”
Jesus G. Fontecha	”

(2) セブ市

Tomas R. Osmena	Cebu City Mayor
Salvador G. Loyola, Jr	Assistant City Administrator
Nigel Paul C. Villarete	Chief, Division of Infrastructure, NEDA (Region 7)

(3) トレド市

Elisa G. San Juan	Toledo City Mayor
Manuel E. Gooyit	City Treasurer
Roque S. Deada	City Planning & Development Coordinator
Francisco R. Macapobre	City Assessor
Salvador V. Ricaldo, Jr	City Engineer
Francisco G. Calonia, Jr	City Engineer Office, Engineer II

(4) マンダウエ市

Alferdo M. Quano	Mandaue City Mayor
Aleyandro Lazau	Executive Assistant to Mayor
Winefreda A. Dedel	City Engineer Office, Engineer II
Vivencio J. Truz	同上

(5) カルカル市

Cristino Cui, Sr	Carcar Town Mayor
Andres V. Sanchez	Assistant Secretary to Mayor
Severino P. Enriquez II	City Planning & Development Coordinator
Ricardo A. Alcudia	Budget officer
Cessar L. Gullad	Local Revenue Collection Officer
Camidod L. Allera	Market Inspector
Annabella N. Rasonable	Acting Bookkeeper

(6) ダナオ市

Conrado E. Bato-On	Vice City Mayor
Vose B. Salingua	City Engineer
Myrna A. Bitoon	City Planning Coordinator
Lydis A. Roble	Budget Officer
Emilia G. Olivemo	Building Inspector

(7) ラブラブ市

Maximo V. Pataliying	City Mayor
Pedro Lim	City Engineer
Efren Herrera	City Councilor
Gadafredo Tumalak	City Development Coordinator
Fernando Tagaan	Assistant City Engineer

(8) タグビラン市

Jose V. Torracba	City Mayor
Sofronio L. Corloncito	City Treasurer
Gaudencio R. Gabriel	City Assessor
Arcadio Sarmiento	City Administrator
Jone S. Blanco	Information Officer
Aquilio C. Dote	Engineer II
Edmund C. Jimenez	Engineer III

(9) オロキエタ市

Peoveival B. Catane	City Mayor
---------------------	------------

Ureriev L. Conol	Vice City Mayor
Ale francisco	City Assessor
Edmund S. Elardo	City Administrator
Agustin A. Galindo, Jr	City Planning & Development Coordinator
Alejandoro Berenguel	City Engineer

(10) セブ州

Emilio M. Osmeña.	Governor
-------------------	----------

(11) 日本大使館

八木書記官

小山書記官

(12) JICA事務所

飯島所長

竹内次長

松本所員

MINUTES OF DISCUSSIONS
PRELIMINARY STUDY ON
THE PROJECT FOR REHABILITATION OF
PUBLIC MARKETS DEVASTATED BY
TYPHOON RUPING

In response to a request from the Government of the Republic of the Philippines, the Government of Japan decided to conduct a Preliminary Study on the Project for rehabilitation of public markets devastated by Typhoon Ruping (hereinafter referred to as "the Project"), and entrusted the study to the Japan International Cooperation Agency (JICA).

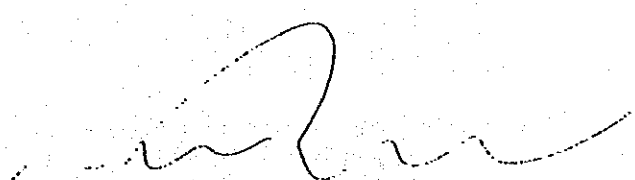
JICA sent to the Philippines a study team, which is headed by Mr. Satoshi Machida, Deputy Director of 2nd Basic Design Study Division, Grant Aid Study & Design Department, JICA. The team stayed in the Philippines from October 23 to November 11, 1991.

The team held discussions with the officials concerned of the Government of the Philippines, and conducted a field survey in the study area.

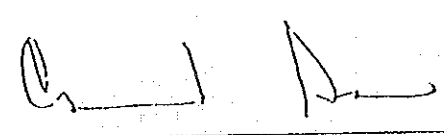
As a result of discussions and field survey, both parties confirmed the main items described on the attached sheets and agreed to convey them to the authorities concerned of each Government for further consideration of the Project.

November 5, 1991

MANILA



SATOSHI MACHIDA
TEAM LEADER
JICA STUDY TEAM



CESAR N. SARINO
UNDERSECRETARY FOR LOCAL
GOVERNMENTS
DEPARTMENT OF INTERIOR
AND LOCAL GOVT. (DILG)

1. Objective

The objective of the project is to rehabilitate and improve public markets and their operational conditions in selected sites in the typhoon "Ruping" affected areas.

2. Responsible and Executing Organizations

(1) The Department of Interior and Local Government (DILG) is responsible for overall administration and execution of the project.

(2) After the project completion and turnover, the local governments of the target public markets shall be in charge of operating and maintaining the markets.

3. Requested Public Markets

After the discussions with the preliminary study team, the following markets were requested by the Philippines side (in priority order). Requested components of each market and their location maps are attached as Attachment I and II respectively.

- (1) Carbon market complex in Cebu City
- (2) New public market in Lapu-Lapu City
- (3) Carcar public market in Carcar town, Cebu
- (4) Oroquieta city public market in Misamis Occidental
- (5) New public market in Danao City.
- (6) Toledo City Poblacion market and Don Andres Soriano Market.
- (7) New public market in Tagbilaran City
- (8) New public market in Mandaue City
- (9) Other public markets in Misamis Occidental (Aloran, Lopez Jaena, Plaridel, Sapang Dalaga)

4. Major Points in Discussions

- (1) The study team made tentative comments concerning requested markets as follows. DILG agreed to furnish Japanese side with required information or that of progress status through the Embassy of Japan by the end of December 1991.

1. In case of Carbon market in Cebu City, it is important to consider integrated development for Freedom Park and Warwick markets. In this regard a prospective relocation plan of inhabitants including squatters should be made and clarified.

2. It would be difficult to consider the Basic Design Study (B/D) for Lapu-Lapu market, unless the prospect of the land acquisition becomes definite.

3. The implementation of B/D for Tagbilaran market should await until construction of new bus terminal and road widening by the Regional Municipal Development Project or any other funding sources will start.

4. Careful observation should be made in the progress of, and relation with the market rehabilitation program for Mandaue Public Market under Metro Cebu Development Project.

5. In view of maintaining hygienic condition of Carcar market, it is desirable to relocate the slaughterhouse from the project site and the possibility of its relocation should be examined further by the Philippine side.

(2) The study team explained that after investigation of the result of the preliminary study among Japanese authorities concerned, possible targeted markets and timing of B/D (expectedly around March 1992) will be informed from Japanese side to DILG.

(3) Both parties agreed that among components of each market, market building should be considered as 1st priority and other facilities such as slaughterhouse and cold storage could be regarded as 2nd priority. The Philippine side will endeavor to provide funds for additional market facilities included in the request over and above those to be funded by the Japanese side.

(4) The study team noted that, in case of implementation of B/D and construction for the Project, safety of the Japanese and other persons involved should be secured. The Philippines side promised utmost care about this.

5. Japanese Grant Aid System

(1) The Philippine side has understood the system of Japanese Grant Aid explained by the team.

(2) The Philippine side will take the necessary measures described in Attachment III for smooth implementation of the Project, on condition that the Grant Aid by the Government of Japan is extended to the Project.

PROPOSED MARKET SITES AND REQUESTED COMPONENTS

CARBON MARKET, CEBU CITY

- Priority A: 1. Reconstruction of Freedom Park and Warwick Barracks
2. Site development (parking lot, hawkers' area, "bagsakan" area, etc.)

- Priority B: 1. Rehabilitation of Unit II

LAPU-LAPU CITY, CEBU

- Priority A: 1. Construction of new public market
2. Site development

- Priority B: 1. Cold storage

- Priority C: 1. Slaughterhouse

CARCAR, CEBU

- Priority A: 1. Reconstruction of public market
2. Site development

- Priority B: 1. Slaughterhouse
2. Cold storage

OROQUIETA CITY, MISAMIS OCCIDENTAL

- Priority A: 1. Reconstruction of public market
2. Site development

- Priority B: 1. Slaughterhouse
2. Cold storage

DANAO CITY, CEBU

- Priority A: 1. Construction of new public market on new site
2. Site development

- Priority B: 1. Cold storage (ice storage)

- Priority C: 1. Rehabilitation of existing slaughterhouse

TOLEDO CITY, CEBU

Priority A: 1. Construction of slaughterhouse
2. Construction of wet market in Poblacion

Priority B: 1. Ice plant and cold storage for Poblacion
2. Cold storage for Don Andres Soriano (DAS)
market
3. Additional dry goods stalls for DAS market

Priority C: 1. Sea wall
2. Site development for Poblacion market
3. Site development for DAS market

TAGBILARAN CITY, BOHOL

Priority A: 1. Construction of new public market on new site
2. Site development

Priority B: 1. Cold storage

Priority C: 1. Slaughterhouse

MANDAUE CITY, CEBU

Priority A: 1. Construction of public market in reclamation
area
2. Site development

Priority B: 1. Slaughterhouse
2. Cold storage

MISAMIS OCCIDENTAL PUBLIC MARKETS

ALORAN

Priority B: 1. Construction of new public market
2. Site development
3. Slaughterhouse

LOPEZ JAENA

Priority B: 1. Construction of new public market
2. Site development and other support facilities
3. Slaughterhouse

PLARIDEL

- Priority B: 1. Construction of new public market
2. Site development

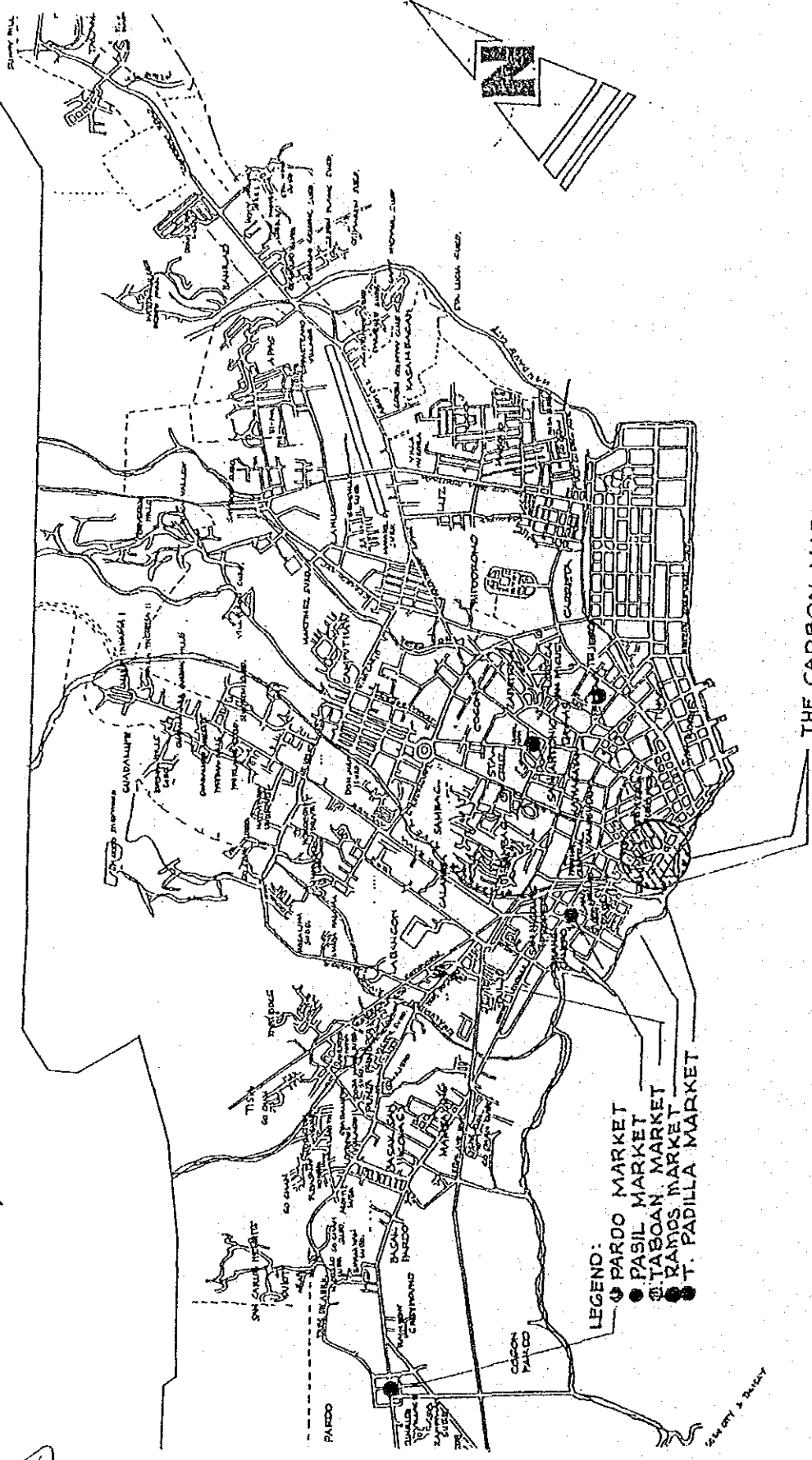
SAPANG DALAGA

- Priority B: 1. Construction of new public market
2. Site development and other support facilities
3. Slaughterhouse

LOCATION MAPS
PROPOSED MARKET SITES

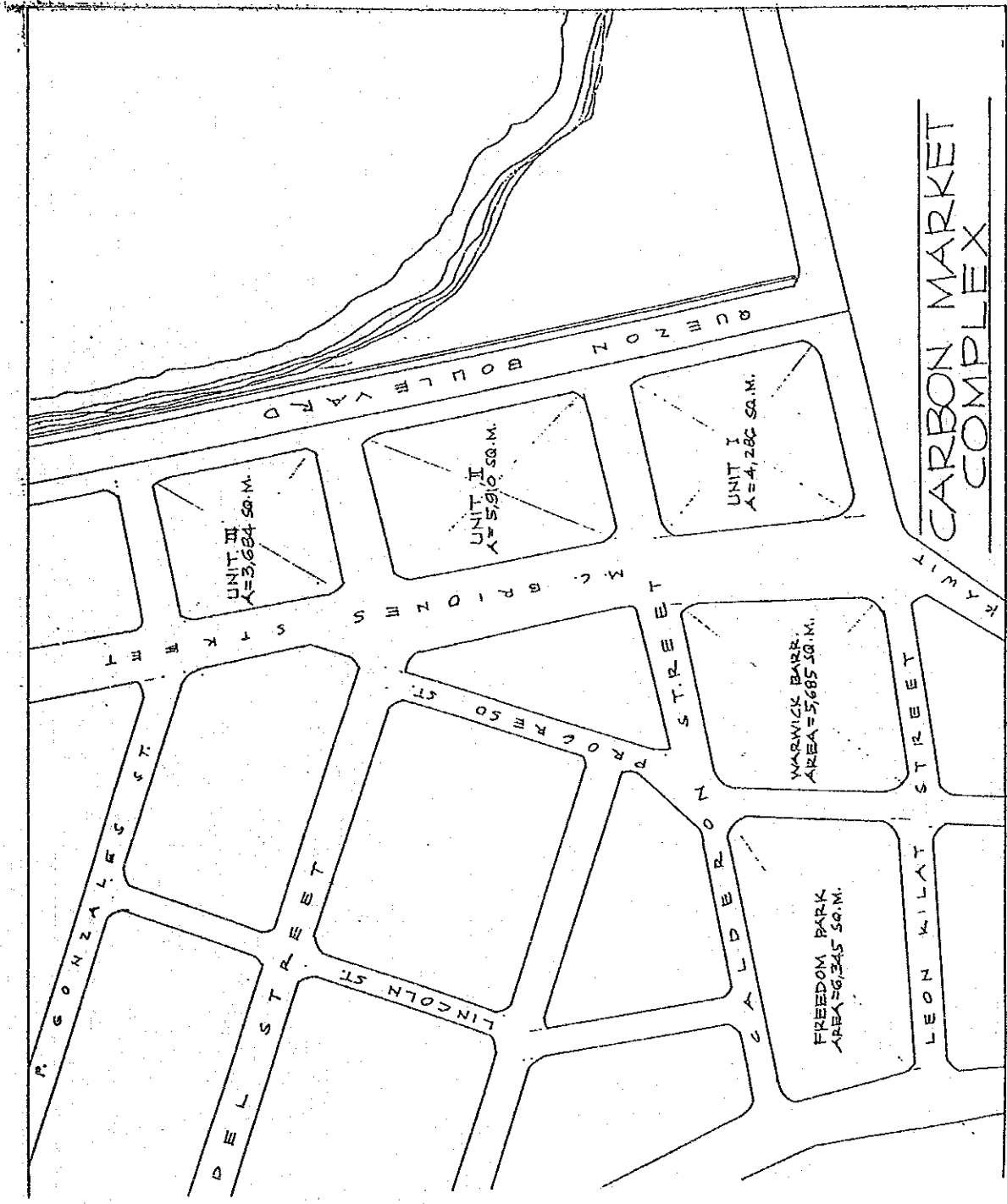
EXISTING MARKET NETWORK

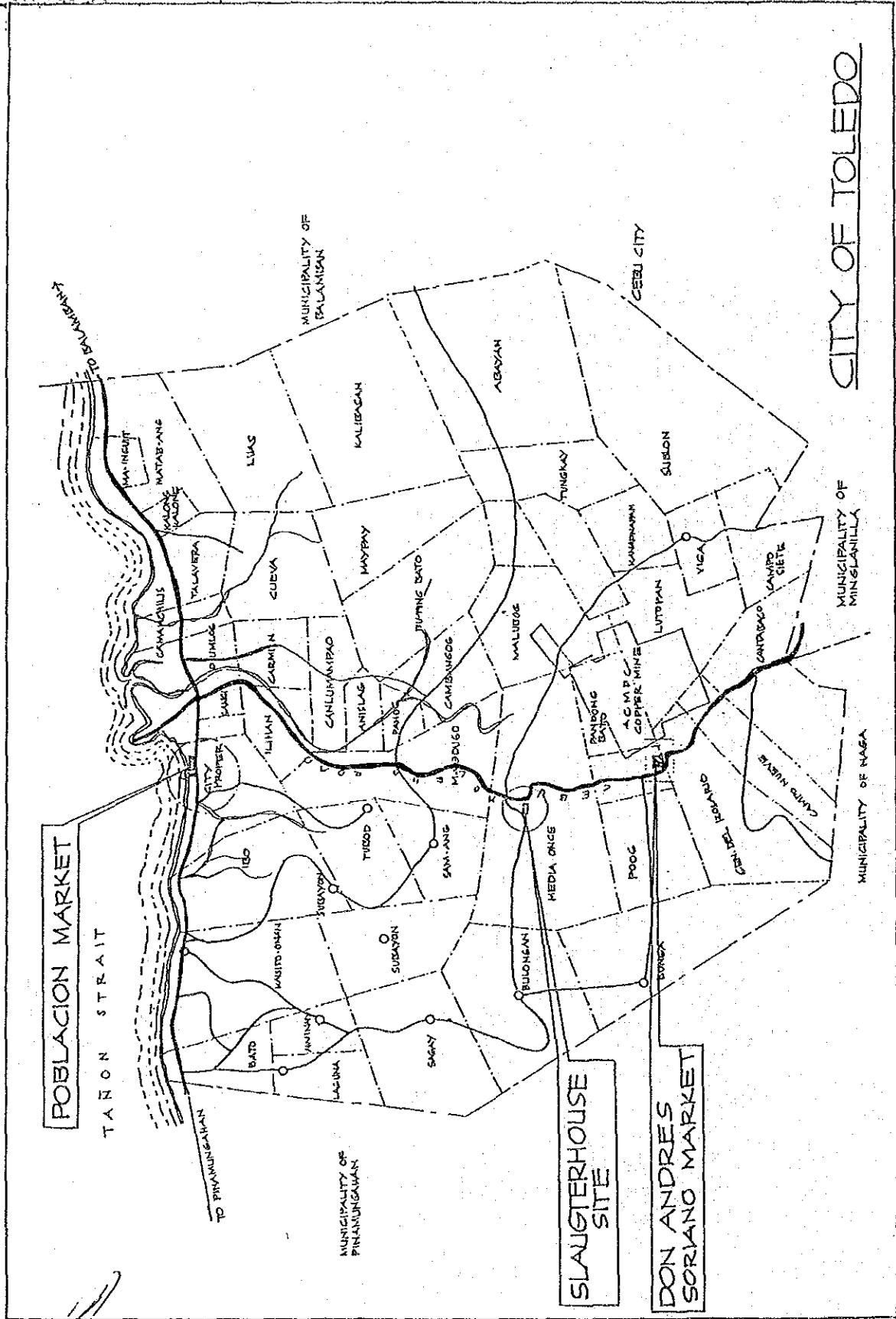
CEBU CITY, PROVINCE OF CEBU



- LEGEND:
- ⊕ PARDO MARKET
 - PASIL MARKET
 - ⊠ TABOAN MARKET
 - RAMPOS MARKET
 - T. PADILLA MARKET

THE CARBON MARKET SITE



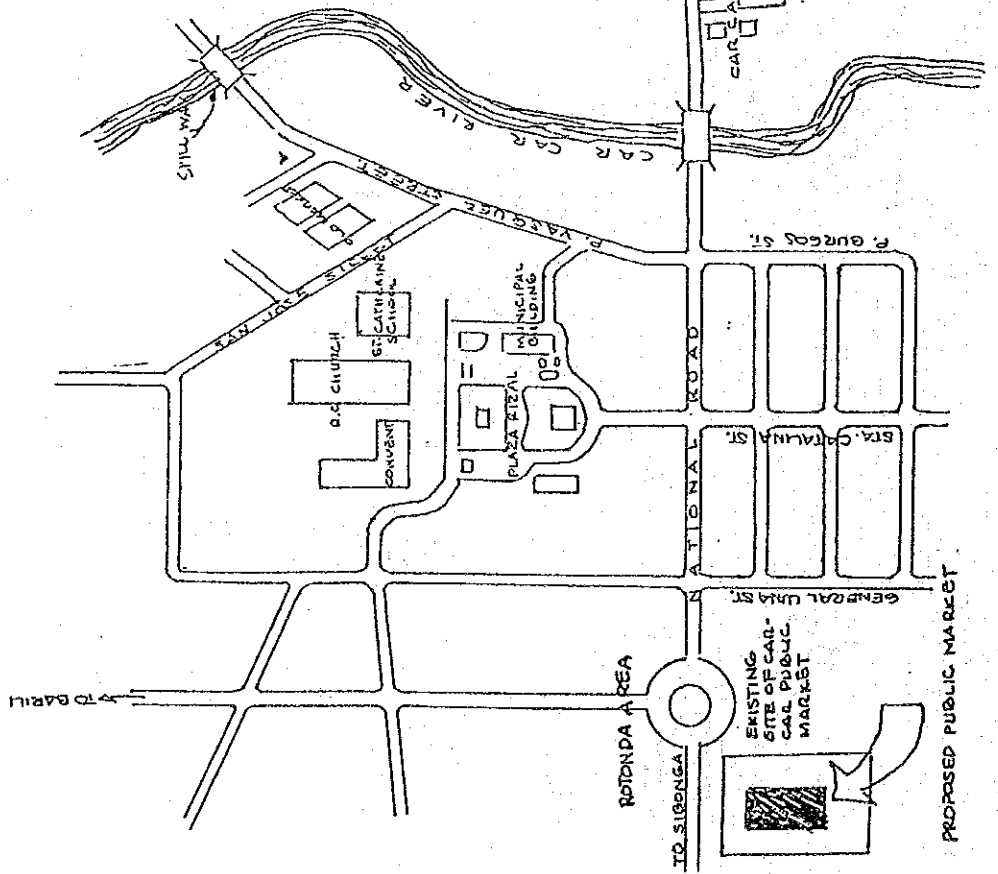
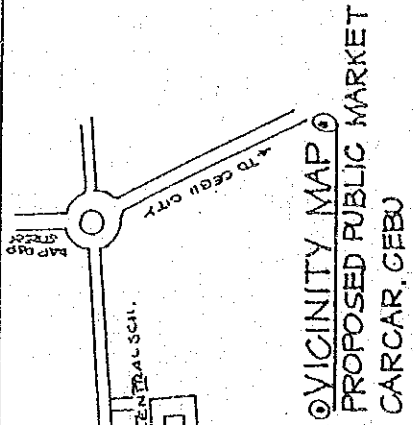
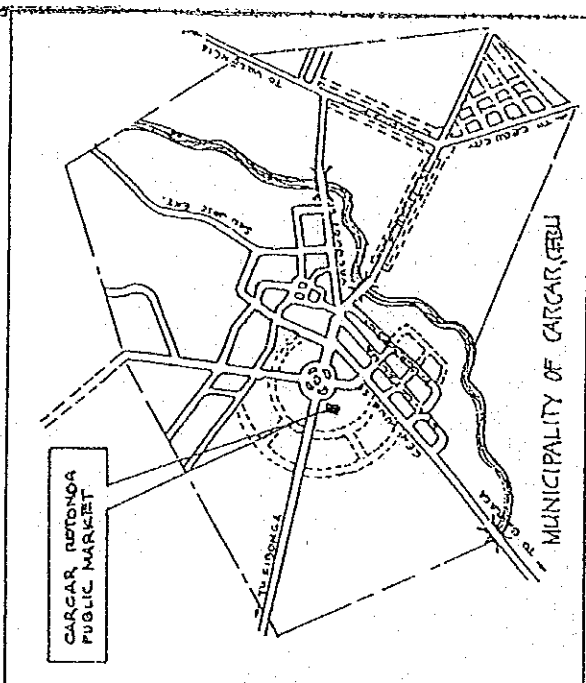


CITY OF TOLEDO

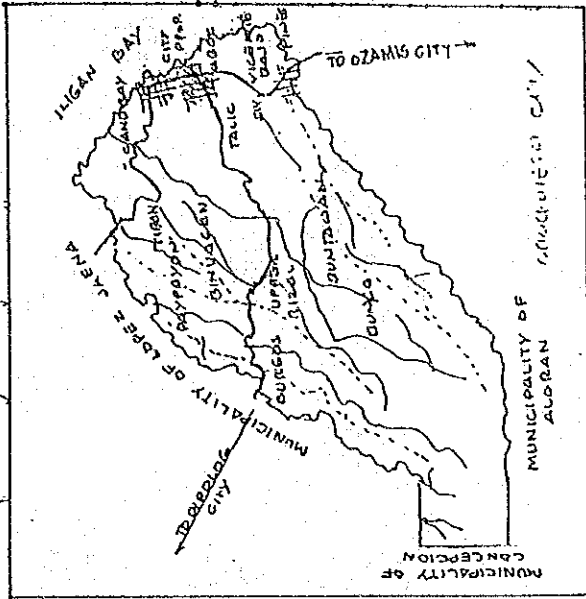
POBLACION MARKET

SLAUGHTERHOUSE SITE

DON ANDRES SORIANO MARKET



VICINITY MAP
PROPOSED PUBLIC MARKET
CARCAR, CEBU



VICINITY MAP
 PROPOSED PUBLIC MARKET
 OROQUIETA CITY

